

平成26年度 福祉用具・アイデアコンクール応募作品集

自立・介護へのアプローチ



主催 富山県
富山県福祉機器開発推進会議
社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 介護実習・普及センター

はじめに

「豊かな暮らしを発見し、生活を支援する福祉用具」をテーマに、富山県福祉機器開発推進会議と合同で、福祉用具・アイデアコンクールを開催し、アイデア部門、作品部門、製品開発部門にわけて、福祉用具のアイデアや作品、新しく開発された製品を募集しました。県内の福祉施設、医療機関の皆さんをはじめ、大学・専門学校の学生、高校生の皆さん、そして県内企業から総数147点の応募をいただきました。応募いただいた作品・製品はどれも、高齢者や障がい者の自立支援と介護負担の軽減を図る工夫がされており、心温まる豊かな発想にあふれておりました。

本書は、コンクールで入賞された20点の作品をはじめ、全応募作品について掲載し、家庭や福祉・医療関係の施設などで介護・看護に携わる方だけでなく、多くの方々に、生活に役立つ福祉用具への関心を寄せ、介護について身近に感じていただくために作成いたしました。

おわりに、コンクールを実施するにあたり、企画運営及び審査を賜りました運営委員並びに応募案内や広報にご協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

平成26年11月

富山県介護実習・普及センター

第9回富山県福祉機器開発推進大会



アイデアコンクール表彰式



作品紹介



特別講演

生き生きサポートセンターうるば高知代表
理学療法士 下元 佳子氏
「二次障害を作らないケアの実践へ
～環境を考えた姿勢や動作のサポート～」

目次

受賞作品

アイデア部門	最優秀賞(1点)	1ページ
	優秀賞(2点)	2ページ
	入賞(4点)	3ページ
作品部門	最優秀賞(1点)	5ページ
	優秀賞(2点)	6ページ
	入賞(7点)	7ページ
製品開発部門	最優秀賞(1点)	11ページ
	優秀賞(1点)	12ページ
	入賞(1点)	12ページ
応募作品一覧		13ページ
平成26年度福祉用具・アイデアコンクール実施要綱		43ページ

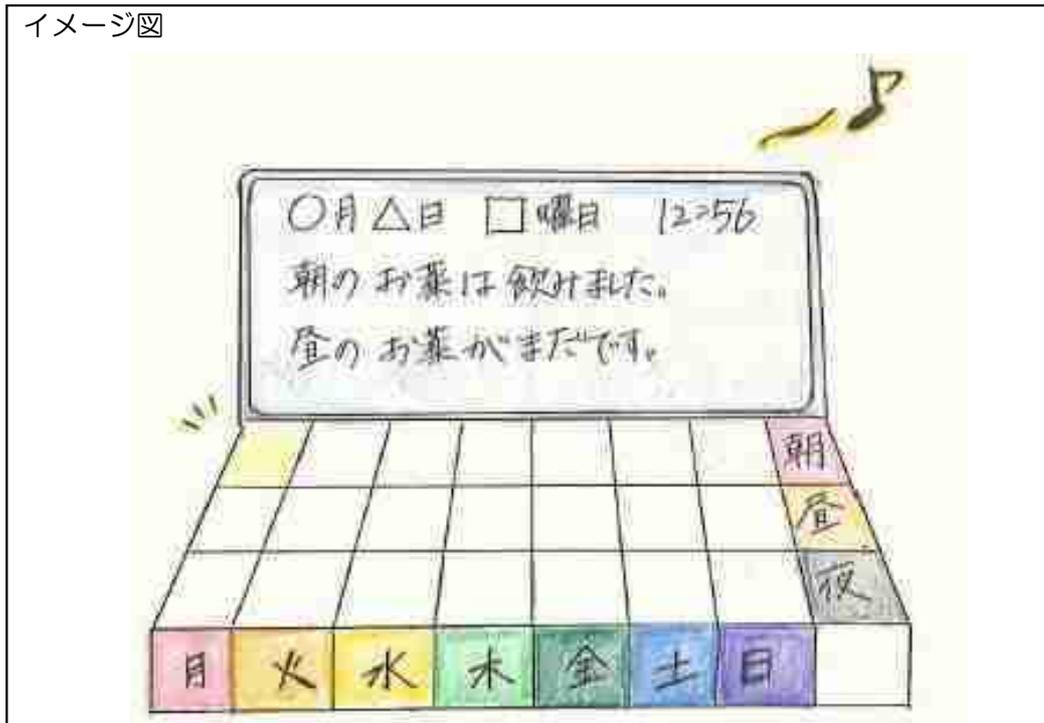
受賞作品



アイデア部門
最優秀賞

作品名 現代的なくすりばこ

出品者 大川 咲季
【県立桜井高等学校 生活環境科】



[用途・特徴]

祖母が病院からもらってきた薬を飲むときに、「あれ、朝飲んだっけ？」などによく聞くことがあったので考えた。

1週間分の薬が入れられて、もしお昼の薬の飲み忘れなどがあると、音楽が流れて教えてくれる。

飲む時間になると点滅して教えてくれて、飲んだら暗くなる。

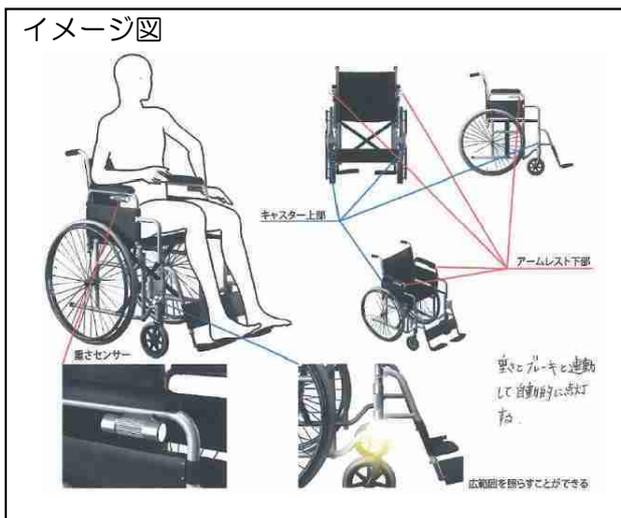
受賞作品



アイデア部門
優秀賞

作品名 車いす自動ライト・足元灯

出品者 田中 良典
【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】



【用途・特徴】

実習で夜勤の体験をし、トイレに行こうと暗闇の中で車いすに乗っておられる方を見て、自動車のようにライトが付けば、安全に利用できるのではないかと思いを考えた。

アームサポートに移動時点灯ライトを取り付け、明るさセンサーによりON/OFFをし、座面下の重量センサーで自動点灯する。また、キャスターには足元灯を取り付け、暗くなったら反応し、センサーで人が近くにいると、車いすの場所がわかる仕組み。移動中には足元灯はつかない。



アイデア部門
優秀賞

作品名 もう、ひとりで動かん椀（ワン）
＋もう勝手に動かさないワニー

出品者 The OK（桶）！！
岩本力 桶家 永史子 中嶋 友絵 手塚 拓臣 高木 映里
【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】



【用途・特徴】

実習の時、みそ汁のお椀が勝手に動きだし、利用者の方に熱いみそ汁がかかりそうになりヒヤッとした。

お椀の高台に穴をあけ、空気が外に抜けて勝手に動くのを防ぐ。ペンチ等で穴をあけると割れてしまう可能性があるため、熱の力で開ける。また、トロミ食や減塩食など、お椀のマークを見ればわかるよう、穴の形を変えられるようにする。

受賞作品



アイデア部門
入賞

作品名 巻かないペーパー

出品者 株式会社アルト 研究開発室



【用途・特徴】

トイレではロールペーパーが一般的だが、手が不自由な方は紙を切ることができない場合があるので、巻いていない紙をトイレで使う事を思いついた。

障がい者用トイレに、ロールタイプではない水に流せるトイレットペーパーを入れた棚を設置する。棚には透明な窓をつけ、中身の量を確認でき、中身は重量により底上げできるようにしている。



アイデア部門
入賞

作品名 楽ラク ドライヤー

出品者 横田 蘭
【県立桜井高等学校 生活環境科】



【用途・特徴】

おばあちゃんが髪を乾かす時に、扇風機を利用していたのを見て考えた。ドライヤーは時間がかかり、長い時間腕を上げていなければならないのは負担であると思った。

羽がないので、髪がからまる心配はない。普通のドライヤーと同じように温風・冷風の切り替えができ、一度に広い面積を当てることができるので、すぐに乾く。

受賞作品



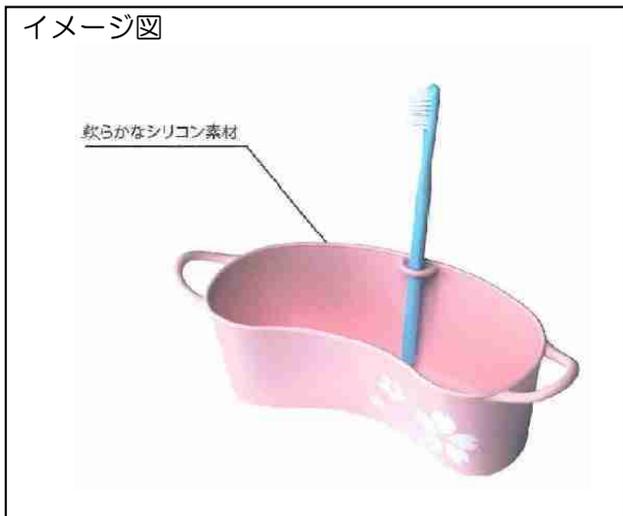
アイデア部門
入賞

作品名 シリコン製 やわらかガーグルベース
(歯ブラシ立て・持ちて付)

出品者

横内 美雪

【北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科】



【用途・特徴】

実習の際、ガーグルベースが非常に持ちにくいことに気が付き、自立支援をしたいのに、利用者の方が持てず介護者が持つことに疑問を感じた。また、歯を磨いたのち歯ブラシを中に入れてそこにうがいをして吐き出すことは不衛生だと感じた。

シリコン素材で柔らかく、耐熱性もあるため食器乾燥機にて乾燥、消毒が可能。持ち手がついているので自立支援につなげることができ、歯みがき終了後には、歯ブラシを立ててうがいができるため、衛生的にもよい。



アイデア部門
入賞

作品名 電動式 低反発まくら

出品者

岩崎 茜音

【県立桜井高等学校 生活環境科】



【用途・特徴】

祖母が祖父を介護をしていて、枕が高すぎても低すぎても首が痛くなり、その人に合った高さの枕がほしいと言っていたのがきっかけで考えた。

枕の高さがスイッチとリモコンの両方で3段階に変えられて、寝ながら自分に合った高さを探ることができる。低反発なので首の負担が少なく、寝心地もよい。

受賞作品



作品部門
最優秀賞

作品名 移動らくらくポータブルトイレ

出品者 神本 正秋

【特別養護老人ホームきらら】

イメージ図



[用途・特徴]

横移動や体の回転が難しい方にも、保有能力を生かした方法でトイレを利用してほしいと思い、また、介助する職員の身体にかかる負担の軽減を目的にキャスターをつけてポータブルトイレを改良した。

片手で素早く動かせるため、立つ動作と座る動作で安全に排泄ができる。便座に座って重みがかわると、キャスターが引っ込み脚が床について固定する仕組み。さらにブレーキをかけることにより、トイレが動くことなく、使用時の安全性が確保できる。

受賞作品



作品部門
優秀賞

作品名 いつも見てるよ♡

出品者 ヤシの木
杉下 千晶 水野 あゆみ 田中 歌子
【富山市医師会看護専門学校 准看護学科】

イメージ図



【用途・特徴】

身体がベッド柵に当たって傷つくのを防ぐため、カバーを作った。

ベッドカバーの布2枚をミシンで縫い合わせ、キルト布を写真の枠に切り取り縫い付けて、カードケースを入れる。ベッド柵にカバーをかぶせ、飾りたい写真をカバーのポケットに入れて使用する。寝ながらいつでも写真が見られる。



作品部門
優秀賞

作品名 バルーン用改造ズボン

出品者 たぶの里 しあわせ4丁目
【特別養護老人ホームつまま園】

イメージ図



【用途・特徴】

ウエスト部分から通していた尿カテーテルのラインを抜去する事故があり、カテーテルの違和感をなくしたいと思い作成した。

ルート交換しやすいように股下をチャックにし、チャックを開き、尿カテーテルのラインを通す。チャックを閉めると中に縫い付けた靴下が袋状になり、ラインや連結部分が直接肌に触れるのを防ぐ。車いすに乗った際は足元からルートを通しかごに入れることで、逆流もなく見た目にもすっきりと見える。

受賞作品



作品部門
入賞

作品名 ウデハメハー

出品者 きらり

安住 和美 岩田 美景 島田 雅由 中林 晃恵

【富山市医師会看護専門学校 准看護学科】

イメージ図



【用途・特徴】

患者さんの点滴の自己抜去を防ぎ、かつ穿刺部が観察できるようにペットボトルでカバーを作成しようと考えた。

ペットボトルを切るとそのまま丸まってくるのを利用し、切り口にあたる部分をテープで保護し、腕に傷がつかないようにした。切れ込みを入れることで太さを調整し、外れないように固定できる。また、防寒効果もある。



作品部門
入賞

作品名 着心地最高、万能浴衣

出品者 メープルシロップ

池端 章浩 作田 栄治 白石 佳代 前原 楓 山本 和美

【富山短期大学 福祉学科】

イメージ図



【用途・特徴】

夏に向け、要介護の利用者さんもよく着ておられる浴衣でユニバーサルデザインのもの考えた。

浴衣の下の部分と肘から先を切り、肘にニット布地を縫い付け、胸元はマジックテープで簡単に着脱できるようにする。切った下の部分の浴衣布地は縫合し、ニットパンツに縫い付けて作った。

浴衣だと肘や膝、尻が張るので、ニット布地をあてて伸縮性を持たせた。着脱できるポケットをつけ、袖口は車いすのアームなどにひっかからないように、ニット布地で絞った。

受賞作品



作品部門
入賞

作品名 たため〜る

出品者 関口 祐子
【富山短期大学 福祉学科】

イメージ図



【用途・特徴】

片麻痺の方のトイレ介助で、トイレットペーパーがうまくたためない様子を見て、まな板、iPadスタンド、ものさしで作ったものに、シリコンチューブと紙を切るためのカッター（刃）を取り付けた。

まな板を上を起こして、滑り止めをつけたものさしで固定して使う。



作品部門
入賞

作品名 私の杖

出品者 千谷 正美
【翠十字会ホームヘルパーステーション】

イメージ図



【用途・特徴】

うっかり杖を間違ったり間違われたり、杖が安定せず倒れてしまったり、持ち手が硬かったりするという問題を解決するために、杖にソフト素材のシートで作ったカバーを付けた。

持ち手がカラフルで、自分の杖が一目瞭然で迷わない。また、クッション素材の滑り止め効果で、どこにおいても倒れずにクッション素材が手に優しくなっている。

受賞作品



作品部門
入賞

作品名 手作り ヘッドレスト&枕

出品者 たぶの里 しあわせ4丁目
【特別養護老人ホームつまま園】

イメージ図



【用途・特徴】

首の支えが弱くなって頭部がそり返り、姿勢の保持ができない人用に作成した。網ネットとつっぱり棒を固定したものに、クッションを2つ合わせにしてコの字型に縫ったものをかぶせ、車いすの背もたれ部に差し込み固定する。枕にベルトを縫い付けたものをヘッドレストに装着し、首のそり返りがみられる方の頭部を支える。つっぱり棒を使用することで、長さを調整し車いすに固定できる。



作品部門
入賞

作品名 One Hand Magic

けろけろけろっぴ
出品者 大島 恵子 高島 真理子 山田 唯加 木下 哉弥
【富山市医師会看護専門学校 准看護学科】

イメージ図



【用途・特徴】

麻痺のある患者さんは、コップを使用してもなかなか洗う事ができないため、片手でもコップが洗えるような道具を作った。ガラス、陶器、プラスチックの全てのコップが洗えるよう、いろいろなスポンジをワイヤーカゴに針金で取り付けて作った。洗い場に吸盤で取り付け、汚れたコップを逆さまにし回転させながら洗う。

受賞作品



作品部門
入賞

作品名 片手でさし子

出品者 福納 侑香
【富山短期大学 福祉学科】

イメージ図



【用途・特徴】

ボランティアに参加した際、片麻痺の方が健側で刺し子をしていたが、片手だと動いてしまうため、文鎮をおいておられるのを見た。しかし、文鎮が落ちたり動いたりするため危険だと思い、動かないものを作った。

ダンボールで型を作り布を周りに貼った。マジックテープを両サイドにつけて道具を固定しておくことができる。底には滑り止めシートを貼った。そして、真ん中に針山を置く場所を作った。

受賞作品

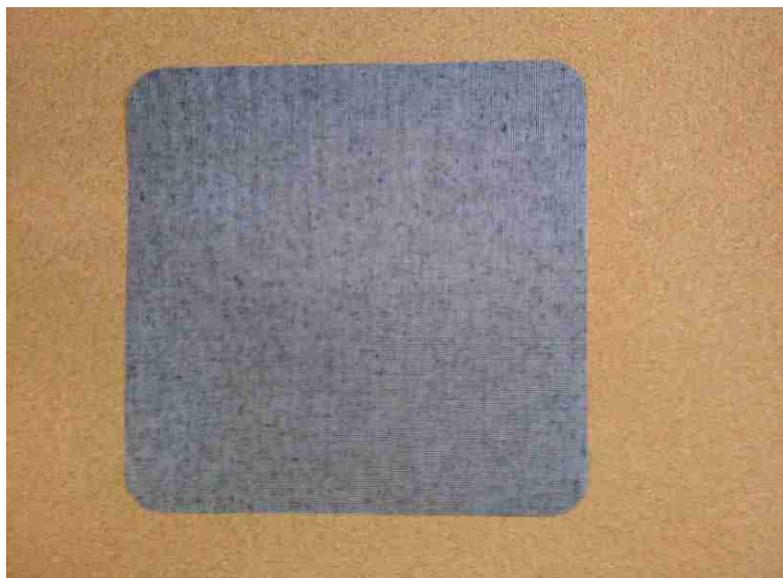


製品開発部門
最優秀賞

作品名 特殊セラミックパウダー消臭シート

出品者 有限会社ナンワ

イメージ図



[用途・特徴]

消臭性の試験の結果、尿の臭気成分のアンモニアの減少率は、2時間で97.8%、汗の臭気成分の酢酸の減少率は、2時間で92%、生ごみの臭気成分のトリメチルアミンの減少率は93.8%。繊維製品の消臭加工の消臭性の基準は類似した試験で減少率が70%以上になっており、高い消臭性があることが確認できた。

特殊セラミックパウダー消臭シートの消臭効果は、3カ月～4カ月有効（たたみ6畳で4枚が目安）。原料の元となるセラミックパウダーは立山の溶岩から採取した地元の資源を活用。

受賞作品



製品開発部門
優秀賞

作品名 マグネ筆

出品者 株式会社アシストラボ

イメージ図



[用途・特徴]

マグネ筆で市販の磁気ボードに文字を書くと、これまでには無かった筆の構造や機能に近い筆圧の変化と線の太い細い表現ができる。毛筆活動を希望しても、準備や後片付けの関係で制約を伴っていた方も、墨汁や紙、電源も不必要で、必要に応じて簡単に消去が可能なので、どこでも手軽に楽しみながら手指などの機能維持を兼ねた毛筆活動が可能。

書いたものはすぐに飾ることができる。枠に折り紙やきり絵を貼りつけた手作り額縁を作り楽しむことも可能。



製品開発部門
入賞

作品名 ユニバーサル結束バンド

出品者 ウラヤマ考業

イメージ図



[用途・特徴]

穴を大きくしたことで暗闇(目の不自由な人)でも使いやすく、ひもに凸凹をつけたので手が滑りにくく、穴からもずれにくい。穴にひもを固定する溝を2か所つけて、どちらでも固定できる。

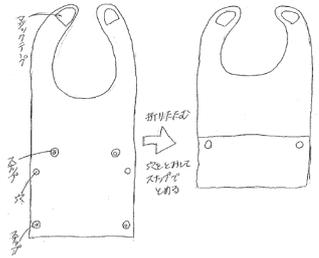
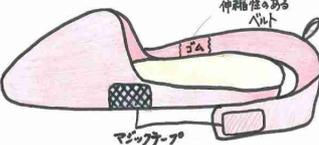
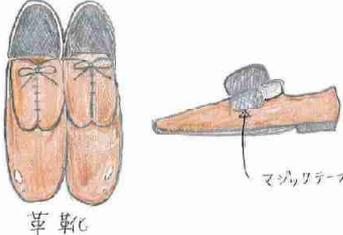
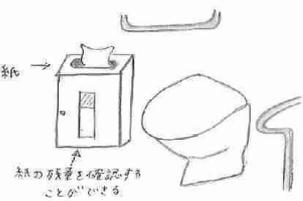
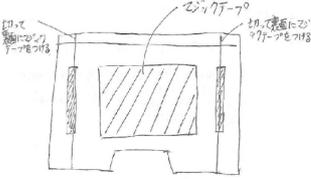
軟質ポリエチレン素材で、不要部を切っても切り口でケガしにくく、耐水性、耐薬品性、絶縁性、耐寒性、耐衝撃性に優れ食品容器もOK。識別を楽にするために樹脂に色を混ぜて様々な色にできる。片手で着脱できるので片麻痺等の回復訓練する結束バンドになる。

平成26年度 福祉用具・アイデアコンクール応募作品

アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
治療訓練用具	1	現代のなくすりばこ 大川 咲季 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母が病院からもらってきた薬を飲むときに、「あれ、朝飲んだっけ？」などとよく聞くことがあったので考えた。 1週間分の薬が入れられて、もしお昼の薬の飲み忘れなどがあると、音楽が流れて教えてくれる。 飲む時間になると点滅して教えてくれて、飲んだら暗くなる。
	2	褥瘡防止マット 二谷 侑希 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		テレビや本で、寝たきりの人にできた褥瘡を見て、褥瘡ができた人もつらそうで、夜中に寝たきりの人の体位を変える人も大変そうだったので、自動で体位を変えるものがあればよいと思った。 体が上手に動かない人に褥瘡ができないようにするため、両脇と足もとに自動的に少しずつ空気が入るマット。1時間ごとに左右の脇に交互に空気が入るようにして、褥瘡ができないようにする。
パーソナルケア関連用具	3	オープンウェア 株式会社アルト 研究開発室		身体の不自由な方は、服を着る事が困難で、特にうでをそでに通したり、ズボンをはく時に足を入れたりすることが大変だと思い考えた。 ズボンや上着の不自由な側の、服の折り目の部分にファスナーをつけ、目立たないようにする。
	4	温度調節できる 着脱しやすい部屋着 河端 真珠 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		母が介護の仕事をしていて、高齢者の衣服の着脱が大変だと聞きいついた。 横にチャックがついているので着脱がしやすく、電気毛布が中に入っているため、簡単に温度調節できる。
	5	サスペンダー付き ズボン 島 悠里花 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		曾祖母は腰が曲がっているため、手が腰に届かず、ズボンをお尻で履いている。オムツが見えているのを気にしていたので、しっかり履けるズボンを考えようと思った。 いつものようにズボンを履いてサスペンダーに肩を通すだけで、しっかりと腰までズボン上げることができる。ゴムが緩くてもずり下がることがないので、お腹周りの締め付けが嫌な方にも使える。ズボンの裾を踏んで転倒するのを防ぐため、ズボンの裾にゴムを付ける。

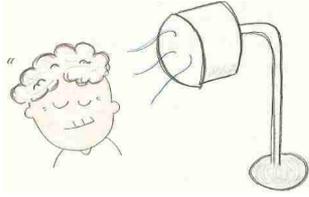
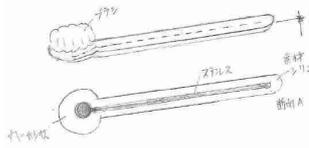
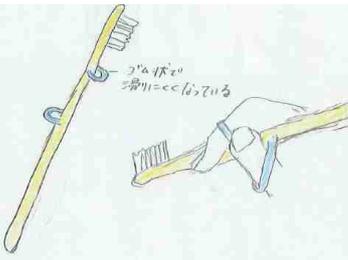
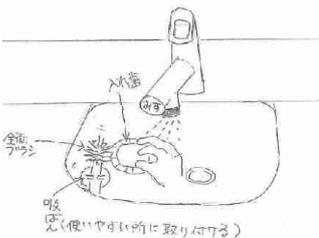
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	6	こぼれおちない エプロン 山本 紗里奈 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>実習に行った時、利用者さんがごはんをたくさんこぼして、掃除するのが大変そうだったので考えた。</p> <p>エプロンを折りたたみ、スナップで留めることで、ごはんをこぼしてもテーブルや床に落ちない。エプロンにたまったものを捨てたい時は、スナップを外せばすぐにきれいにできる。</p>
	7	スラットはけ〜る 田嶋 力也 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)	<p>ベルト式かかとスリッパ</p> 	<p>実習の際に、自分で履物の着脱が出来なくて、手軽に履けるスリッパで移動されている方がおられた。しかしトイレに行かれた際にすぐに脱げてしまい、危険な様子だったので、着脱が簡単で、サイズ調節ができる、かかとのベルトをつけてはどうかと考えた。かかと部分の伸縮性のあるベルトをマジックテープで調節することにより、履きやすさとサイズの調節が可能になる。</p>
	8	オシャレな リハビリブーツ 株式会社アルト 研究開発室	 <p>革靴</p> <p>マジックテープ</p>	<p>半身不随の人がリハビリ用に履く、マジックテープのついた靴を見て考えた。障がい者の方が、スーツや礼服を着る場面で、足元もオシャレにできるよう、革靴にマジックテープをつけようと思った。</p> <p>革靴にマジックテープをつけ、脚の甲の部分が開くのではきやすい。障害を持ち、外に出ることが億劫になっても、足元を少しオシャレにするだけで、外出したり、活動の場が増えるのではないかと思う。</p>
	9	巻かないペーパー 株式会社アルト 研究開発室	<p>個室専用トイレ</p>  <p>紙</p> <p>紙の厚さを調節できる</p>	<p>トイレではロールペーパーが一般的だが、手が不自由な方は紙を切ることができない場合があるので、巻いていない紙をトイレで使う事を思いついた。</p> <p>障がい者用トイレに、ロールタイプではない水に流せるトイレットペーパーを入れた棚を設置する。棚には透明な窓をつけ、中身の量を確認でき、中身は重量により底上げできるようにしている。</p>
	10	快適オムツカバー 濱屋 千鶴 谷 るり子 吉田 節子 (地域密着型特別養護老人ホーム片貝ヴィーラ)	 <p>マジックテープ</p> <p>尿とりシート</p> <p>尿とりシート</p>	<p>寝たきりでオムツになってもオシャレに過ごしてほしいとの職員の思いから、ショーツでオムツカバーができないかと考えた。</p> <p>伸縮性があり、またがみが深い1分丈のボクサーパンツを使用し、またがみ部分に尿とりシートをあてる。切った裏面にマジックテープをつけ、体の大きさに合わせて圧迫のないように止める。綿素材の布パンツを使用し、布おむつを使わず尿とりシートのみを使う。コスト面での削減もみられると思う。</p>

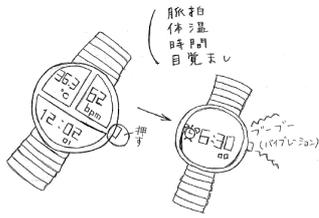
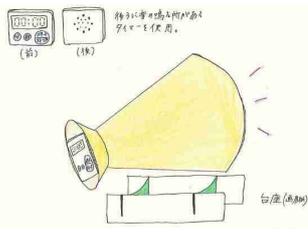
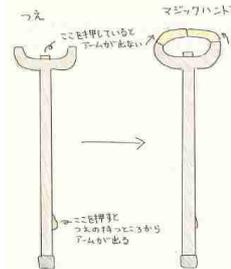
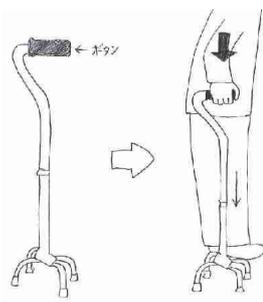
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	11	in 浴槽段差 砂原 麻理捺 (県立桜井高等学校 生活環境科)		お風呂の底が深く、入るのが少し大変なので はと考え、浴槽内に段差をつけてみたら使いや すいと思った。 お風呂の段差を付けたいところを取っ手を 引っかけて、ステッキの部分で高さ調整する。 ペットボトルに水を入れて、イスの足元の筒に 入れてお風呂をわかす。 イスには、滑って転倒するのを防ぐため、す べり止めシートをつけたり、イスの表面などに あたって痛くないようスポンジを付けた。
	12	お風呂マット 谷村 香奈 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		高齢者にとって、1番風呂はよくないと言わ れるが、誰が入っても安全に入浴できるお風呂 にしたいと思い考えた。 熱を伝導できる、すべりにくい素材を使用し たマットを浴室から浴槽にかけて敷き、高齢者 が安全に入れる38℃になると色が変わる。
	13	ボディーウォッシュ 寺田 姫那 (県立桜井高等学校 生活環境科)		おじいちゃんが半身麻痺で片手しか使えず、 お風呂で体を洗うのに困っていたので、片手で 背中を洗えるようにしたいと思った。 スポンジにせっけんをつけて、背中を洗う。 スポンジについている棒を少し曲げて、背中に 届きやすくした。
	14	気軽にパッチン 橋本 菜由 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖父が以前、虫めがねを持ちながら爪を切っ ていて、自分の影で足元が暗くなり、切りづら いと言っていたのを思い出して考えた。 爪切りの先端に虫めがねがついており、虫め がねの横に小さなライトもついているので、切 りたい場所を拡大し、見やすいように光で照ら せる。 普通の爪切りと大きさはあまり変わらずコン パクト。
	15	ラクラクポンプ 千代 奈知 (県立桜井高等学校 生活環境科)		シャンプーをしている時に、途中でもう少し シャンプーがほしいと思った時は、両手で出す ためシャンプーの押す部分が泡で汚れたり、小 さいので滑りやすく押しにくかったりする。そ れを防ぐため、片手で簡単に出すことができな いかと思い考えた。 ポンプの部分に板を固定し、板の上に手を置 いて力を加えて下げるとシャンプーがでてく る。押す部分が広いので、滑らず、そのまま手 の平に出せる。

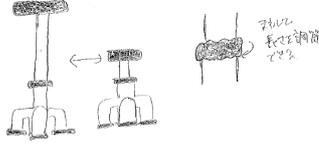
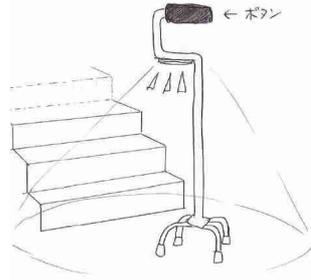
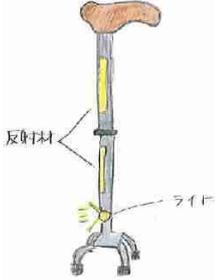
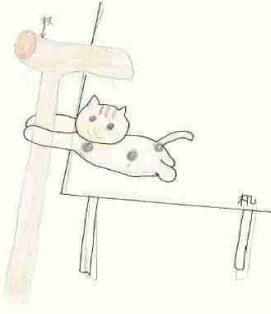
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	16	楽ラク ドライヤー 横田 蘭 (県立桜井高等学校 生活環境科)		おばあちゃんが髪を乾かす時に、扇風機を利用していたのを見て考えた。ドライヤーは時間がかかり、長い時間腕を上げていなければならないのは負担であると思った。 羽がないので、髪がからまる心配はない。普通のドライヤーと同じように温風・冷風の切り替えができ、一度に広い面積を当てることができるので、すぐに乾く。
	17	噛んでも安心ブラシ 太田 信 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		実習中に利用者さんが、歯ブラシを認識できず「ガリッ」とよく噛まれていて、歯が折れないかなと心配になった。もっとやわらかい材質のものだったら歯を痛めないかと考えた。 ブラシ部分は従来のままで、柄の部分をやわらかなシリコン製とする。シリコンだけだとまっすぐの形状を保てず力が入らないので、柄の中心に細長いステンレスの板を入れ、丸いブラシ部分は丸い形状のステンレスの板を入れて補強する。
	18	カがいらぬ歯ブラシ 三ヶ 有紗 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		以前けがをした時に、利き手の右手に包帯を巻き、握力がはならず、とても歯みがきがしにくかったのを思い出し、指をはめてしまえば握る力がなくても歯磨きができるのではないかと考えた。 指をはめる位置は普通に握った時と同じ位置で、指が抜けてしまわないようにすべり止めがついている。
	19	シリコン製 やわらかガーグルベース (歯ブラシ立て・持ちて付) 横内 美雪 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		実習の際、ガーグルベースが非常に持ちにくいことに気が付き、自立支援をしたいのに、利用者の方が持てず介護者が持つことに疑問を感じた。また、歯を磨いたのち歯ブラシを中に入れてそこにうがいをし吐き出すことは不衛生だと感じた。 シリコン素材でやわらかく、耐熱性もあるため食器乾燥機にて乾燥、消毒が可能。持ち手がついているので自立支援につなげることができ、歯みがき終了後には、歯ブラシを立ててうがいができるため、衛生的にもよい。
	20	入れ歯簡単ブラシ やすらぎ荘 デイサービスセンター (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		片麻痺の残る利用者さんが、意欲的に入れ歯を洗われていたが、残渣物は大半取りのぞけても、歯垢はほとんど取れていないのを見て考えた。 全面ブラシを吸盤で使いやすい所に取り付けることで、片麻痺が残っている方でも、健側の手を使い上手く洗う事ができる。

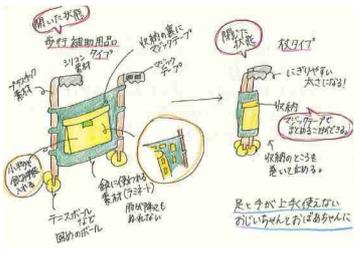
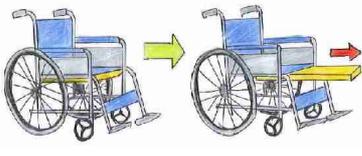
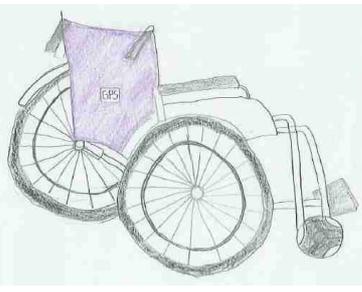
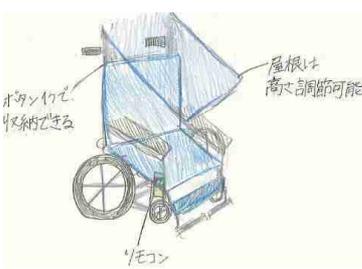
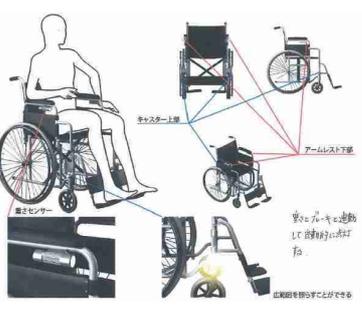
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	21	高機能腕時計 紙屋 優奈 (県立桜井高等学校 生活環境科)		散歩中に体調が悪くても、体温・脈拍をはかることができないかと思考えた。 ゴムひも時計で取り外しが簡単。寝返りを打っても壊れない。散歩中に脈をはかることができ、体調管理ができる。
	22	メガホンタイマー 芝山 智香 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母がよくタイマーを使っているが、音が鳴っても気付かなかったり、どこに置いたか忘れたりすることがあった。そこで、大きな音が聞こえるもの、目印になるようなものと一緒にしたらどうかと考えた。 大きいメガホンで目印になる。台座があるのでメガホンが転がらない。台座はメガホンに合わせて丸みをつけ、色を付ける。後ろに音の鳴るところがあり、タイマーを使用できる。
移動機器	23	のび〜るつえ 松川 優衣 (県立桜井高等学校 生活環境科)		私の祖母は膝が痛く、歩きにくそうにしているため、使いやすい杖があったらいいなと思った。 手を置く場所はクッション性のものにして、体重が乗っても痛くないようにした。また、身長によって使いやすい長さが違うと思うので、長さを変えられるようにした。
	24	マジックつえ 平林 安曇 (県立桜井高等学校 生活環境科)		足の不自由なおじいちゃん、おばあちゃんが使う杖に、何かの機能を付け足そうと思い、遠くのものを取るときにマジックハンドがあると便利かと思い、マジックハンド機能を付けた。 歩行時は杖として、物を取りたい時は上下を逆にして棒の所にあるボタンを押すと、アームが出てマジックハンドになる。持ち手にあるボタンを押すとアームが出ないので、杖として使っている時の誤作動を防ぐ。
	25	のび丈君 株式会社アルト 研究開発室		片麻痺の方が杖を使って階段を降りる時、片方の手足にしか力が入らないため、手すりにつかまっても不安定で非常に怖いと感じるという事を聞いた。少しでも降りる動作や座ったり立ったりする動作が楽になったらと思考えた。 グリップの所にあるボタンを親指で押しながら体重をかけると、杖の長さを調節できる。仕組みは事務イスなどに用いられているガススプリングで、片手で調節可能。体重をかけずにボタンを押せばゆっくりと元の長さに戻る。

アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	26	立ち上がり杖 専徒 日菜 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		祖父が歩くときだけでなく立つときにも何かにつかまっていなくてつらそうにしているのを見て、立つときにも支えてくれるものがあると便利だと思った。 杖の長さを簡単に変えることができ、歩行する際の支えにもなるようにした。また、杖の足を4つにすることで、よりバランスよくなるようにした。棒が2本つながっていて、その間を手で回すことができるボルトで長さを調節できる。
	27	足元ひかるちゃん 株式会社アルト 研究開発室		夜中にトイレへ行く時、暗いろう下を歩くには視界が悪く、ちょっとした段差につまずいて怪我する恐れがあるので考えた。 グリップのところにあるボタンを親指で押すと、ライトが足元を照らし、ちょっとした段差などの障害が見つけやすい。
	28	ねこの目ステッキ 株式会社アルト 研究開発室		夜や暗い場所を歩くときに、障害物がないかよく見えるように、杖にライトがついていればいいと思った。 反射材とステッキの根元に、自転車のライトのような自動点滅ライトを取りつける。ステッキのボタン等を押さなくても、ステッキを使用している時だけ自動的に夜間や暗い場所でライトが点滅する。暗い場所での思いがけない障害や段差にも、ライトを点滅することで気づくことができる。
	29	杖転倒防止ねこちゃん 鏡原 祥代 (県立桜井高等学校 生活環境科)		杖を使っているおばあちゃんが、お店などでお金を払う時に杖がじゃまで、机などにかげようとしても滑って倒れてしまうのを見て考えた。 杖をどこかにたてかけたり、置いておきたい時に使用する。かわいくて、持ち運びに便利。
	30	つえかけるくん 蜷川 美歩 (県立桜井高等学校 生活環境科)		授業で福祉施設を訪問した際、杖を使用している方が多く、杖をすべて1つの場所にまとめていた。何度も取りに行くのが大変だと思い、常に近くに置いて置けるようなものがないかと思って考えた。 杖に硬めのシリコン素材のものを付けることで、杖を床に置かずに、また邪魔にならず、すぐに使うことができる。杖の好みの高さにつけ、テーブル等にかけて使用する。シリコンなので滑りにくく、当たっても痛くない。

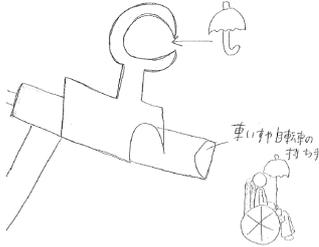
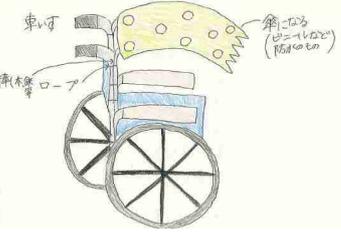
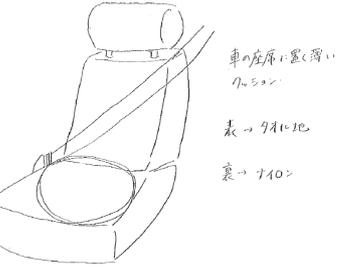
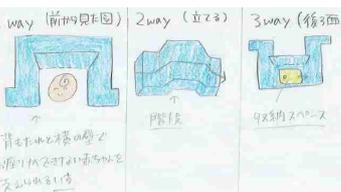
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	31	便利!!!まほう杖 濱木 冴子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>実習に行った時、歩行補助用品を使っていた高齢者の方が多く、使うには便利でよい道具だと思っていたが、いすに座った時には邪魔になってしまうので、コンパクトにできないかと思った。実際に使っているのを見ると、他の所に置かなければならず、移動した時もなかなか取れないことがあったため、安心して使えるものがあたらと感した。</p> <p>開いた時は歩行補助用品として使い、閉じた時は杖として使う。</p>
	32	リラックるまいす 株式会社アルト 研究開発室		<p>普段車いすを使っている父が、よく足のしびれや痛みのため、わざわざ車いすを降りて、足を伸ばすために別のソファやベッドに移動して体を休める姿を見て考えた。</p> <p>車いすで移動中は、座席の下に格納されていて、足や体の疲れを感じた時に座席下から足をのせられる台が引き出せ、車いすに座ったまま、足を伸ばすことができる。</p>
	33	GPS付き車いす! 浦谷 茉由佳 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		<p>認知症のお年寄りの方などが、もし1人で出かけて行方不明になってしまったら困るので、車いすにGPSを付けておけば、行方がすぐわかるので便利。これからの高齢者が増えていく世の中に便利だと思う。</p> <p>GPSが付いているので、誰がどこにいるかすぐわかる!</p>
	34	屋根つき車椅子 湯上 愛佳 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>暑い日に車いすで散歩するのは暑そうなので、日差しを遮ることができないかと考えた。</p> <p>屋根はその人の座高に合わせて長さを調節することができ、必要のない時はボタン1つで車いすの後ろ側に収納される。</p>
	35	車いす自動ライト・足元灯 田中 良典 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		<p>実習で夜勤の体験をし、トイレに行こうと暗闇の中で車いすに乗っておられる方を見て、自動車のようにライトが付けば、安全に利用できるのではないかと考えた。</p> <p>アームサポートに移動時点灯ライトを取り付け、明るさセンサーによりON/OFFをし、座面下の重量センサーで自動点灯する。また、キャスターには足元灯を取り付け、暗くなったら反応し、センサーで人が近くにいれば、車いすの場所がわかる仕組み。移動中には足元灯はつかない。</p>

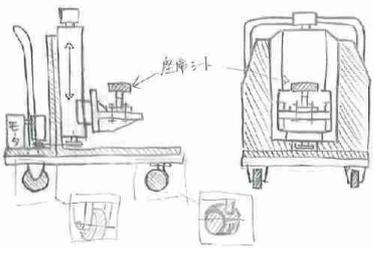
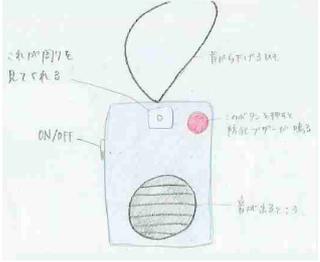
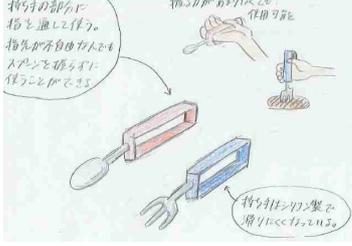
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	36	付けて安心、 ふんでのぼれーる オーロラ 桑名 宮森 宮城 (オーロラ介護サービス)		雨や雪のため車いすや靴の裏がぬれていると、段差を昇る時にティッピングレバーを踏むと滑り、危険をとまなう時があるため考案した。 パイプにキュキュと差し込める素材のものを装着し、滑らず安全に段差を昇ることができる。ティッピングレバーは、丸いパイプ状のものが多く、レンタルの車いすにも簡単に装着できる。
	37	車イスでも無理なく 運べるモン! Part1 堀裕子と たのしい仲間達 藤城 俊彦 堀 裕子 中川 亮子 山地 翔太郎 池上 浩太郎 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		車イスに小物入れを付属させることで、自らのなじみの品や必需品等を安心して気軽に持ち運べるのではないかと考えた。 折りたたみが可能なカップホルダーを付ける事で、収納時も幅を取らず、取り外しも可能なので、常時必要なものが身近な場所において置け、小物の紛失を防ぐことができる。フックは弾力をもたせ、引っかけると共にはさみ込む様にする。持ち手のあるカップも入れられる。
	38	車イスでも無理なく 運べるモン! Part2 堀裕子と たのしい仲間達 藤城 俊彦 堀 裕子 中川 亮子 山地 翔太郎 池上 浩太郎 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		車イスに小物入れを付属させることで、自らのなじみの品や必需品等を安心して気軽に持ち運べるのではないかと考えた。 ランチボックスのようなたためるプラスチックの箱にフックをつけ、車いすにつける。取り外しが可能なので、収納時も場所をとらず、常時必要なものが身近な場所において置け、小物の紛失を防ぐことができる。フックは弾力をもたせ、引っかけると共にはさみ込む様にする。フタを取り付ける事で、プライバシーが守られる。
	39	車イスでも無理なく 運べるモン! Part3 堀裕子と たのしい仲間達 藤城 俊彦 堀 裕子 中川 亮子 山地 翔太郎 池上 浩太郎 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		車イスに小物入れを付属させることで、自らのなじみの品や必需品等を安心して気軽に持ち運べるのではないかと考えた。 チャック付、ガマグチ付のポーチの裏にフックをつけ、車いすにつける。取り外しが可能なので、収納時も場所をとらず、常時必要なものが身近な場所において置け、小物の紛失を防ぐことができる。フックは弾力をもたせ、引っかけると共にはさみ込む様にする。高齢者になじみのあるガマグチにすることで、昔を思い出すきっかけにもなる。
	40	おでかけ安心! レーン防 相談室 やすらぎ居宅 (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		利用者さんの送迎時、車いす用レインコートを使用しているが、風でめくれたり、体や顔にまとわりついたり、着脱も負担になる事もあるため考えた。 両側のハンドルとアームレストの4ヶ所にワンタッチで装着でき、シャバラ状に開く。前方が透明になっていて、前が見えることで利用者さんにも不快感を与えない。

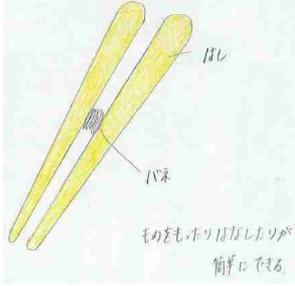
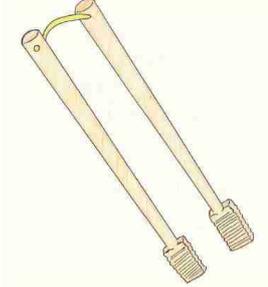
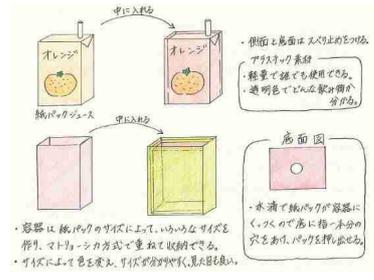
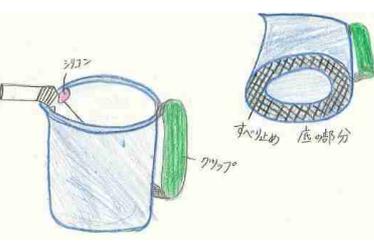
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	41	雨の日便利！ 傘ホルダー 谷口 比菜 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		車いすの方は両手でタイヤをおすので、両手がふさがっている。そのため雨の日は傘をさせず、外に出ることができないのではと思い、傘ホルダーを考えた。また、私が自転車に乗りながら安全に傘をさせたらいいのになと思ったこともきっかけになった。 車いすの持ち手や自転車のハンドルなどにすぐに取り付けることができ、C型になっているところに傘の柄の部分のカチッとつける。両手が空くため、運転する時も安全である。
	42	どこでも umbrella 小久保 望 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		急に雨が降った日に、車いすの方がぬれたまま通行しているのを見て、車いすに傘があればいいと思った。 車いすに取り外し可能な傘を取り付ける。車いす用の大きな傘になっている。
	43	雨でも安心！ 傘つき車いす 荒俣 恵 (県立桜井高等学校 生活環境科)		雨の日に出る時、車いすの方は傘をさしながら車いすに乗るとするのは厳しいと考えた。濡れてどこかで着替えなければいけなくなるのも大変なので、傘を付ければよいと考えた。 棒、ビニール、ガムテープ、ロープと、手軽に手に入る材料できて、傘をささなくても雨から身を守ることができる。また、日差しをカットして暑さ対策にもなる。
	44	乗り降りらくらく クッション 鍋谷 遥香 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		曾祖母が病院に行く時に、車の乗り降りを大変そうにしている、中華料理のターンテーブルをTVで見て「こんな風に回転したら座りやすいのでは？」と思考えた。 薄めで、模様の向きを気にせず座れる丸いデザイン。表はタオル地、裏はナイロンにすることで、座った時の感触は柔らかい。回転させることで、簡単に体を前に向けたり、横に向けたりできる。車の走行中はシートベルトをつけることにより、勝手にすべることはなく、安心して使用できる。
	45	Baby's サポーター 坪内 紗都 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		私のいとこがまだ0歳で、自立で座ってられない光景を見て、おかあさんは常に見ていないといけないと思った。赤ちゃんが自立できるもので、遊べる道具や収納にもなるように考えた。 ①自力で座れない赤ちゃんが背もたれと横の壁で支えられる。安全面を考え、外側は布で覆ってある。②赤ちゃんが成長して遊び始めるようになったら、昇ったり降りたりして遊ぶことができる階段。倒れないように頑丈。③お母さんが赤ちゃん用品などをしまう収納スペースの引き出し。

アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	46	らくらく座席移載装置 FUJIKOプロジェクト 尾崎 祐人 森岡 玄多 荒川 寛也 窪田 竜 (不二越工業高等学校 情報機械科)		人の役に立つものを作りたいと思い、医療福祉現場を対象にアンケート調査した。そして車いすを使用している方から、車にリフトアップシートやスロープタイプを装備している物は乗り降りがとても楽だが、実際には高額で装備できないという意見を聞いた。 モーターを搭載し、上下運動が自動でなので、特別な装置がついていない車でも、楽に車いす⇔らくらく座席移載装置⇔車の乗り降りができる。高さを調整することで、横へサッと移動しやすくなる。
	47	案内くん 奥 悠里花 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		ニュースで盲導犬がフォークのようなもので刺されたという事件を見て、視覚に障害のある人が1人でも安心して外を歩けるようなものがあつたらいいなと考えた。 首から下げて持ち歩き、ボタンをオンにすると前方の不注意を音声で教えてくれる。また、防犯ブザーもついている。
家事用具	48	温度が分かるコップ 水 ひかり (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		私の祖父母は、年を取るにつれて、舌で温度を感知するのが鈍くなってきて、熱湯でも平気で飲んでしまうようになった。 温度が高い時は色が濃くなり、色の濃さでその飲み物が熱いか冷たいかが分かるようにした。持ち手も、人の手の形に合うようにした。
	49	光るランチョンマット 株式会社アルト 研究開発室		祖父は目が不自由で、明るい場所でないとな物の影が見えず、物にぶつかってケガしたり、茶わんを倒してこぼしたりしていた。 特にご飯を食べる時は部屋を明るくしなければならぬが、部屋の電気の明るさには限界があるので、ランチョンマットが光ると器の位置が見えやすいのではないかと思った。マットの裏はすべり止めが付いていて、食器と接する表面はさらさらして多少滑り、少し手が食器にぶつかってもこぼれにくいようになっている。
	50	指を通せるスプーン・フォーク 二上 沙理奈 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		私のおばは、事故で親指と人差し指を欠損しており、食事の時に、はしやスプーンなどを使いにくそうにしていた。それを見て、少しでも使いやすく工夫ができないだろうかと考えた。 食事の時に、持ち手にある輪の中に指をいれるだけで、ものをすくったり刺したりできる。指先の不自由な人や握る力があまりない人でも、握らずに使うことができる。持ち手はシリコン製で滑りにくい。

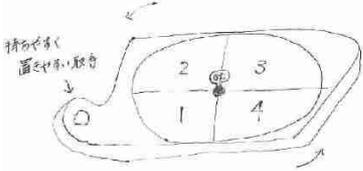
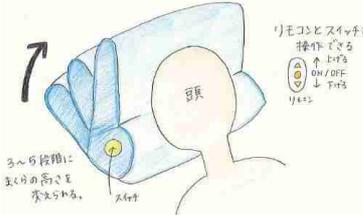
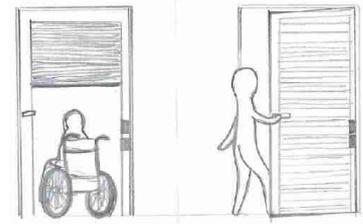
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	51	らくらくチョップ スティックス 張田 愛美 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		訪問先の老人ホームで、手が不自由な方が食事をしているところを見た。手が不自由なために、豆などの細かいものをつかむのが苦悩であり、何かいい案はないかと考えた。 はしとはしの間にバネをつけることによって、簡単に物をつかんだりはなしたりすることができる。
	52	つまめる おはし 宮窪 桃子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		利き手と逆の手で箸を使おうとすると、うまく力が入らず、なかなかものをつまめない。もし、けがなどで利き手が使えなかったり、年を取って筋力が衰えたりしても、軽い力でもものがつまめると食べやすいと思った。 先端がトングやクリップのようにギザギザになっていて、ものが滑らず軽い力でもつまみやすいようになっている。持ち手の部分にひもをつけることで、落としてもなくさないようにし、持ち手も少し太めにして握りやすくした。
	53	汗をかかない ペットボトル 中島 千智 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		いつもペットボトルの外側に水滴がついて、周りがびしょびしょになるので考えた。 水滴が出ないため、まわりがぬれない。
	54	噴き出し防止容器 河村 楓 (県立桜井高等学校 生活環境科)		実習へ行った際に、水分補給の時間に紙パックのジュースが出てきたが、高齢者の方が紙パックを強く握りすぎたためにジュースが噴き出し、服や手が汚れてしまった。それを見て、中身が噴き出さないように入れ物があればよいのと思って考えた。 軽量で誰でも使用できるプラスチック素材で、透明色で中身が何かわかり、サイズによって色を変える。側面と底面に滑り止めを付け、落としにくく、倒れにくい。紙パックが容器にくっついていても底に穴が開いているので簡単に押し出せる。
	55	ストロー差し込み可能 コップ 鬼原 栞那 (県立桜井高等学校 生活環境科)		施設訪問に行ったとき、お茶をストローで飲んでいる車いすのお年寄りの方がたくさんおられ、飲む時にストローが動いて飲みにくそうだったので考えた。 ストローを固定することができ、シリコン製なのでストローの大きさによって調節できる。手にフィットするように、持ち手にグリップを付け、コップの底には滑り止めをつける。

アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	56	斜底コップ 笹島 亜美 (県立桜井高等学校 生活環境科)		実習に行った際、利用者さんがコップで飲み物を飲んでいたら飲みにくそうだった。傾けるのを手伝ってもらったり、自分で飲んでいてもなかなか飲めていなかったため、中の底を斜めにする事で飲みやすくなるのではと考えた。 シリコン製だがしっかりしていて、コップの中の底が斜めになっている。持ち手は太目になっている。
	57	いつでも どこでもコップ 霜野 葵 (県立桜井高等学校 生活環境科)		缶ジュースを見ていて、手に障がいがある人は、自分で飲むことが困難なので、少しでも楽に自分の力で飲めるものがあたらよと考えた。 いつでも、どこでも、持ち手のない缶やペットボトルなどにはめて飲むことができる。指の力のない障がい者が使いやすいように、持ち手が大きくなっていて、つかみやすい。
	58	ぐいのみ 中村 衣良 (県立桜井高等学校 生活環境科)		利用者さんたちは飲み物を飲む時、ストローを使うことがある。しかし、コップを持ち上げる腕の力がある方には、残存能力を引き出した方がよいと思考えた。 飲み口は飲みやすいように細くした。持ち手は滑らないよう、握るときフィットするように形を整え、シリコンを付ける。コップはかるいプラスチック製にする。
	59	ペットボトルグリップ 広浜 杏華 (県立桜井高等学校 生活環境科)		ペットボトル飲料を飲む際、ボトルを持って飲むのが大変そうだったので、少しでも持ちやすく、スムーズに飲んでもらいたいと思考えた。 ペットボトルに、強度がありすべりにくいシリコンで出来ているグリップをつける。
	60	もう、ひとりで動かん 椀(ワン) + もう勝手に動かさないワニー The OK (桶) !! 岩本 力 桶家 永吏子 中嶋 友絵 手塚 拓臣 高木 映里 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		実習の時、みそ汁のお椀が勝手に動きだし、利用者の方に熱いみそ汁がかかりそうになりヒヤッとした。 お椀の高台に穴をあけ、空気が外に抜けて勝手に動くのを防ぐ。ペンチ等で穴をあけると割れてしまう可能性があるため、熱の力で開ける。また、トロミ食や減塩食など、お椀のマークを見ればわかるよう、穴の形を変えられるようにする。

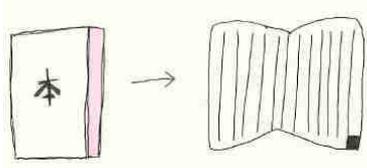
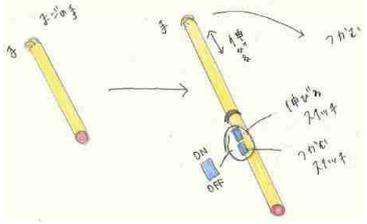
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	61	シオリ式左回転食卓用 トレー "ボンジョビ" 谷井 志織 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		<p>実習で食事介助をした際、利用者さんが同じお皿のおかずばかり食べていたのを見て、この作品があればバランスよく食事をする事が可能なのではないかと思います。</p> <p>食事の時、食べ物が入ったお皿をトレーの1・2・3・4の各ゾーンに載せ、ぜんまいにより少しずつ左回転することで、同じ箇所ばかりに手が伸びる利用者さんも、いろいろな食べ物を順序よく食べる事ができる。電池交換などの手間も不要。</p>
	62	正座がラクチンなイス 畑 千夏 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		<p>前におじいちゃんが亡くなったとき、おばあちゃんが、長時間正座をすると足がしびれ、ひざを曲げるのが大変だと言っていたのをきっかけに考えた。</p> <p>ひざを最後まで曲げなくてすみ、普通の正座に比べて上半身の体重がイスにかかるので、しびれにくくなる。長時間でも負担が少なくなる。</p>
	63	電動式 低反発まくら 岩崎 茜音 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>祖母が祖父を介護をしていて、枕が高すぎても低すぎても首が痛くなり、その人に合った高さの枕がほしいと言っていたのがきっかけで考えた。</p> <p>枕の高さがスイッチとリモコンの両方で3段階に変えられて、寝ながら自分に合った高さを探することができる。低反発なので首の負担が少なく、寝心地もよい。</p>
家具・建具、 建築設備	64	ブラインドア 株式会社アルト 研究開発室		<p>車いすにのったまま開き戸を開くとき、不安定な体勢で開くので、転倒したりドアにはさまったり危険である。そこで、車いすにのったままでも簡単に出入りできるもの考えた。</p> <p>既存のドアとつけ替えることができ、ドアの中央は布製のブラインドでクーラーの冷気や暖房を逃がさない。枠組みはしっかりしており、底部の枠のみうすくしてバリアフリーにする。車いすの人が通る場合はリモコンorタッチパネルにより自動でブラインドを上げ下げし出入りする。</p>
	65	飛びでるん棚 富山 滯 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>私は本が好きで、本棚の一番下や奥に入っている物が取りにくいと感じた。高齢者や体の不自由な人でも取りやすい、使いやすい本棚にしたいと考えた。</p> <p>本棚の棚が出てくるように工夫して、力の弱い人でも押しやすいように押すところを広くした。本を入れる時はPUSHと書いてある部分は折りたためる。また、移動させる際、運びやすいように、下に車輪をつけ、横には誰でも持ちやすいような形の取っ手をつけた。</p>

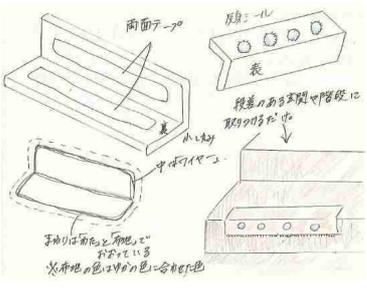
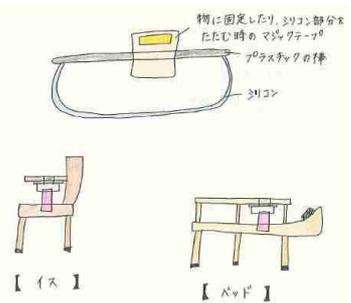
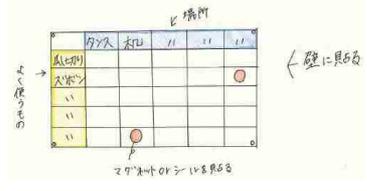
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
コミュニケーション 関連用具	66	単語帳ならぬ言葉帳 窪田 菜月 (県立桜井高等学校 生活環境科)	<p>① 白いフェルト布を横10cm 縦3cmの幅で作る ② ここにアイロンの熱に耐えられる50音順の文字が並び文字を作り、アイロンの熱で貼りつける。 ③ 「おはよう」や「ごめんなさい」の何パターンかを作る ④ 本のように縫い合わせる</p>	<p>実習で、目はいいけど耳が遠い人がおられたので、伝えたいことを文字で表せば伝わるのではと思った。テレビ番組のADさんが使うスケッチブックのカンパよりも小さくて持ち運びが便利な物を考えた。</p> <p>白いフェルト布に、ひらがなで作った文字をアイロンの熱で貼りつける。文字を見て反応してくれるので、考えたり反射神経を鍛えたりして脳の活性化につながると思う。なるべく顔の近くで1枚1枚ゆっくりとり、意思表示の確認をする。</p>
	67	想いを伝えて 橋本 玲那 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>祖父が倒れて脳梗塞になり、右半身が動かなくなり、「言語障害だから思っていることがうまく話せない」と言っていたのをきっかけに考えた。</p> <p>下敷きくらいの大きさの布に、マジックテープでフェルトの「あいうえお表」をつける。その表の他に、もう1つ布にマジックテープを付けたものを用意して、自分が伝えたい言葉を表から選んで下の布にくっつける。この作業をすることで、「あいうえお表」を覚えることができ、自分の思ったことを伝えられる。</p>
	68	お知らせバンド 浅野 世利恵 (県立桜井高等学校 生活環境科)		<p>聴覚障がい者の方から話を聞き、呼び出しに反応できない方がいることを知ったのがきっかけで考えた。</p> <p>受付の人がボタンを押すことで、手首に巻いておいたバンドが振動して聴覚障がい者の順番を知ることができ、自分の番だということがわかる。</p>
	69	パタQ 株式会社アルト 研究開発室		<p>家族がちょっと外出している間に、家にいた高齢者が具合が悪くなり倒れ、電話が付近にならない場合は危険だと思い考えた。</p> <p>一定時間周りに動きがないまま倒れていると、杖に内蔵されている発信器から、離れたところにいる家族の携帯電話に情報がいく。</p>
	70	「自分はここだよ！」 センサー 宮川 早紀 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		<p>ボタンを押すだけで、場所がわかる。</p> <p>もしも、たおれたり、立ち上がれなくなったら、GPS機能付きのこのリモコンで、場所を家族におしえてくれて、かつ音が鳴ってまわりの人がきづく。</p>

アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
操作用具	76	さらさらめくれる！！ 中村 桃子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		よく、おばあちゃんを見ていると、新聞や本で指につばをつけてめくっている。簡単にスムーズにめくれるよう、何か方法はないかなと思った。 ページの先にテープを交互につける。
	77	フィットくん 能登 風夏 (県立桜井高等学校 生活環境科)		以前、ボールペンやシャープペンを持ちにくいと障がい者の方が言っておられ、太く軽い方が持ちやすく、ロック部分も軽く押せるほうがよいと思った。 持ち手が太くゴム素材ですべり止めがついている。また、表面をデコボコさせて持ちやすく、手から落ちるのを防ぐ。ロック部分は大きく、軽く押せる。色は気持ちが落ち着くような緑や青色、水色を使う。
	78	伸びる！つかめる！ 便利な まごの手 松島 加奈衣 (県立桜井高等学校 生活環境科)		ばあちゃんがまごの手を使っていて、もっと便利な物にならないかと思って考えた。 スイッチ1つで伸びるようになり、スイッチ1つで物をつかむことができる。お年寄りだけでなく、体の不自由な方にも使える。
	79	簡単に拾えます君！！ 白崎 貴子 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母の家に遊びに行くと、下に置いてある物を取るという動きをよく見た。その時に、腰を下ろしたり足を曲げたりと苦勞していたので、もっと簡単に下にある物を取る道具があればいいなと思考えた。 ボタン1つで伸縮が自由自在で、足を曲げる必要がない。握りやすいように滑り止めがついていて、ボタンで簡単に物を浮かすことができる。紫外線センサーで物の重さ・材質・形状を把握して吸盤に吸引して物を安全に運ぶことができる。
	80	歯ブラシスタンド マウス 口腔エイド 岩木 康晟 (北陸ビジネス福祉専門学校 介護福祉学科)		学校の授業で福祉用具の開発を行う時にカタログを見ていると、もっと色々な形や色で用意することで、自己選択、自己決定の幅が広がり、これからのニーズに合うと思った。 片麻痺の方が一人で歯磨きできるよう、全ての動作を片手でできる福祉用具の歯ブラシスタンド。

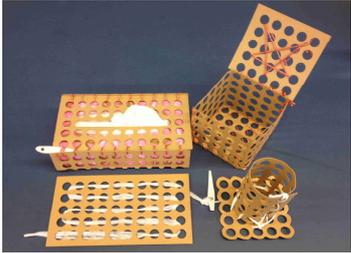
アイデア部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
操作用具	81	簡単とりつけ 段差マット 本波 文音 (県立桜井高等学校 生活環境科)		よく、階段にはフットライトがついていて、足元を照らしているが、最初の1段目がどこからなのかわからない時がある。つまづいて角に当たった場合ケガをする可能性もあり、クッションを用いてつまづいても大丈夫にし、反射シールをつけて位置がわかりやすいにしたかった。 ワイヤーで土台をつくり、綿と布で周りを覆っているクッションに、反射シールが貼ってある。クッションの裏には両面テープが貼ってあり、取付も楽。色は床の色に合う色にする。
環境改善機器・作業用具	82	お助けくん 尾崎 愛 (県立高岡西高等学校 普通科 人間福祉コース)		テレビでお年寄りの方が熱中症で倒れて重症になったりするのを多々見るので、なんとかして防ぐことはできないかと思ひ考えた。 部屋が一定の温度より高くなると、ピカピカ光って大きな音で知らせてくれる。
その他	83	どこでもタオルバンド 井口 実季 (県立桜井高等学校 生活環境科)		授業で介護福祉施設1日体験学習に行った時に、お年寄りの方を見て、いつも身の回りにタオルがあることに気付いた。また、介護をしている方も邪魔にならず、タオルが置けるようなものはないか、また持ち運びができる便利なものがあるとよいと思った。 バンドでイスやベッドなど、さまざまな場所に付けることができる。タオルをかけるところがシリコンになっているので、タオルが落ちないようにすべり止めになっていて、収納もしやすくしている。
	84	おしゃべり人形 こごろう(こまち) 清川 珠那 (県立桜井高等学校 生活環境科)		遠くの家に住んでいるおばあちゃんがおしゃべりする人形を持っていて、いつもその人形に話しかけて楽しそうに笑っていた。その人形はいつも同じ言葉しか話さないで、実際に高齢者の人と話すことのできる人形を作りたいと思った。 色々な話をし、いろいろな言葉を話す。しっかりお年寄りの言葉を聞き取り、言葉の受け答えをしっかりと、笑ったりもする。
	85	探し物は そこだ!!!! 小林 瑞季 (県立桜井高等学校 生活環境科)		祖母が最近物をよくなくすようになり、どこにやったかも覚えていないので、物をなくさないように考えた。 物を片づけたり、どこかに持ち出す時、マグネットかシールを貼ることで、物がどこにあるのか一目でわかる。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
治療訓練用具	1	薬でポン ゆかいな仲間達 平井 紗耶香 西 由美 小西 里采 白石 千恵 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		実習で、患者さんの内服薬は種類も多く、服用時間も様々で自己管理をされていても飲み忘れがたまにあると聞き、飲み忘れを防止できる薬ケースがあればよいと思った。 切った牛乳パックを6つ集めてのりで貼り、外観を和紙で整え、わかりやすくするためビニールテープで朝昼夜で色分けをして食前と食後にわけた。前の晩に1日分のみきったら、翌日の分を分けておく。
	2	くすり取り出しタワー 宮田 美佳 (富山県高志リハビリテーション病院)		片麻痺の方や、指の力が弱くて自分で薬を取り出すことができない患者さんが、退院した後も継続して内服管理を行っていくにはどうしたらよいか考えて作った。 牛乳パックを逆さにして作った蓋に錠剤、カプセルの大きさの穴を開け、受け皿に被せて穴の上でPTPの薬を押し、受け皿で薬を受け止める。また、上部には割り箸を取り付け、袋の薬を挟んで固定し、片手でもハサミで切ることができる。
	3	片手でお薬スムーズ 上田 歩美 (富山市医師会看護専門学校 看護学科)		左麻痺の方が、散剤を服用する時に口でくわえて右手で薬を破っておられた。散剤がこぼれてしまっている様子を見て、片手でスムーズに薬の服用ができるようにした。 牛乳パックの口を開き逆さにし、上の部分に割り箸を止めて固定し、包装布を貼って作った。 薬袋を割り箸の先端にはさみ、片手でスムーズにハサミで開封できる。セットする際にずれのを防ぐため、底に滑り止めマットを付け、安定させた。
	4	Back to the ナール棒 ナローNurse 齋藤 めぐみ 須垣 美栄子 榎田 広朗 西野 尚美 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		皮膚の乾燥や他の原因による全身の掻痒感を訴え、軟膏を使用している高齢者の方が多い。背部や足部なども自分で塗ることができると、看護者、介護者の負担の軽減になると思った。 まごの手の上部についているボールを平らに切り、切った部分をヤスリで削って滑らかにし、持ち手にすべり止めを貼りつける。手の届かない部位に薬を塗ることができ、まごの手としても使えて一石二鳥。
	5	いつも見てるよ ヤシの木 杉下 千晶 水野 あゆみ 田中 歌子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		身体がベッド柵に当たって傷つくのを防ぐため、カバーを作った。 ベッドカバーの布2枚をミシンで縫い合わせ、キルト布を写真の枠に切り取り縫い付けて、カードケースを入れる。ベッド柵にカバーをかぶせ、飾りたい写真をカバーのポケットに入れて使用する。寝ながらいつでも写真が見られる。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
治療訓練用具	6	リハビリシート 二ノ宮 勝則		母が昔、着物を縫って私達を育ててくれたことを思い出し、今の母に、昔のように手で縫い物をしているイメージを思い出してもらおうと思い、穴の開いたシートに出会って考えた。針のやわらかさが出るように作った紙の針に、糸やひもなどを通して、シートの穴に針を通したり、小物を作ったりしてリハビリをする。
	7	ウデハメハー きらり 安住 和美 岩田 美景 島田 雅由 中林 晃志 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		患者さんの点滴の自己抜去を防ぎ、かつ穿刺部が観察できるようにペットボトルでカバーを作成しようと考えた。 ペットボトルを切るとそのまま丸まってくれるのを利用し、切り口に当たる部分をテープで保護し、腕に傷がつかないようにした。切れ込みを入れることで太さを調整し、外れないように固定できる。また、防寒効果もある。
パーソナルケア関連用具	8	あったか "スッポリン" チームRose 江尻 和代 田村 梢 増田 妃呂実 宮島 美枝子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		寒い冬に受診に行く時、コートの着脱はひと苦労なので、毛布の中央をくり抜いて頭からスッポリかぶれるコートを作った。麻痺があってもかぶるだけなので、とっても簡単に着脱可能である。首にゴムを通してあるので、首元が寒くない。 首元のゴムがキツくなりすぎないように調整し、膝が寒くならないように前を長めにしてすっぽりとかぶる。
	9	バルーン用改造ズボン たぶの里 しあわせ 4丁目 (特別養護老人ホームつまま園)		ウエスト部分から通していた尿カテーテルのラインを抜去する事故があり、カテーテルの違和感をなくしたいと思い作成した。 ルート交換しやすいように股下をチャックにし、チャックを開き、尿カテーテルのラインを通す。チャックを閉めると中に縫い付けた靴下が袋状になり、ラインや連結部分が直接肌に触れるのを防ぐ。車いすに乗った際は足元からルートを通しかごに入れることで、逆流もなく見た目にもすっきりと見える。
	10	手作り 介護服&シャツ (胃ろう用) 堀川 ユリエ (特別養護老人ホームつまま園)		胃ろうの方は経管栄養のラインをつなぐ際や薬の注入時には、胸元を広げて行うことが多く、恥ずかしさや抵抗がある方もいる。いつまでもおしゃれで過ごしてもらいたいという思いで作った。 服の脇をチャックにすることで見た目をすっきりとし、シャツの脇から胃ろうチューブを取り出し、ミルクや薬を注入する。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	11	ゆるゆるカーベス 干葡萄 渋川 大泰 笹木 諒 開 明莉 今井 美紗子 安部 浩庸 (富山短期大学 福祉学科)		安く簡単に誰でも着られる服を作りたかった。 伸縮性のある素材の長袖の服を用意し、袖を切り、切り取った部分にマジックテープを付けて袖部分を調整し、カーディガンやベストとして着ることができる。
	12	ゆったりメルヘンパーカー みるくてい 池田 莉乃 加藤 千章 小椋 絵末莉 (富山短期大学 福祉学科)		おしゃれに着られる女性目線からの服を製作したいと思った。 脇にゆとりをもたせて、横入れのポケットを縦入れにし、大きめに作った。また、ファスナーの部分を持ちやすいようにリングをつけ、レースをポケットと裾に付け、可愛くデザインした。 オシャレをしたい時に上着としてきたり、体温調節に使用したりする。
	13	着心地最高、万能浴衣 メープルシロップ 池端 章浩 作田 栄治 白石 佳代 前原 楓 山本 和美 (富山短期大学 福祉学科)		夏に向け、要介護の利用者さんもよく着ておられる浴衣でユニバーサルデザインのもの考えた。 浴衣の下の部分と肘から先を切り、肘にニット布地を縫い付け、胸元はマジックテープで簡単に着脱できるようにする。切った下の部分の浴衣布地は縫合し、ニットパンツに縫い付けて作った。 浴衣だと肘や膝、尻が張るので、ニット布地をあてて伸縮性を持たせた。着脱できるポケットをつけ、袖口は車いすのアームなどに引っかからないように、ニット布地で絞った。
	14	ドッキュンワンピース♡ 7組の華 中川 絵南子 山口 聖奈 稲浪 星良 久保 舞夏 東海 梨菜 (富山短期大学 福祉学科)		一枚でかわいく美しく着られるものを作ろうと思った。 チェックの長袖を主体とし、袖の部分の切り、Tシャツを切った布を縫い付けた。わきにゆとりを持たせたことで、着やすく、動きやすくした。また、仕上げにミニーちゃんを付け、かわいくした。
	15	一着でカンタン！ 重ね着Tシャツ Pikaru 今村 花音 木下 絵梨香 田口 愛 竹腰 夕夏 (富山短期大学 福祉学科)		拘縮がある人でも、オシャレができる服はないかと思い製作した。 伸縮性のあるTシャツを使用し、前あきのシャツのボタン、襟を活用して重ね着しているように見せる。一着でオシャレスタイルになり、ボタンを開けたり閉めたりすることで、雰囲気を変えて楽しむことができる。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	16	カラフルでポップな チェックシャツ きっとゆかいな 仲間たち 岩白 真衣 高木 恵理 殿村 凧月 永瀬 香奈絵 (富山短期大学 福祉学科)		片麻痺のある方でも、簡単に着脱できる。 袖口に切り込みを切れ、切った部分がほつれないように布をはりつける。布をつけたところにマジックテープをつけ、袖を簡単に通せるようにした。また、ボタンのところをマジックテープで止められるようにし、飾りで花柄のボタンの装飾をする。車いすにのつても物を入れやすいよう、ポケットをつけた。
	17	らくらくブラウス まーる 富田 夏帆 林 亜耶 藤森 友理奈 竹林 玲奈 吉田 玲奈 (富山短期大学 福祉学科)		実習を通して、片麻痺や体に障がいのある方にもおしゃれを楽しんでもらいたいと思った。 ブラウスの脇の下の部分を切り、Tシャツを縫い付け、ボタンは大きいボタンに変えた。また、後ろでとめることもできる。 女性向けにギャザーやレース、黄色とピンクの飾りをつけた。
	18	ユニセックスな 機能的シャツベスト Sky-t～幸せ・ 心・優しさ・ゆしみ～ 千澤 薫 林 忍 宮本 鷹二 山口 達也 (富山短期大学 福祉学科)		実習で片麻痺の方の衣服の着脱が難しかったことや、片麻痺の方の腕が不安定で危険だと感じたので、衣服の着脱がしやすく、腕の安全を考え、安定した状態を保てる衣服を製作した。 異なる素材のチェック柄の生地を使用し、男女問わず着られるようにした。また、袖ぐりを大きくとり、着脱しやすく、動きやすくした。片麻痺の人の麻痺側の腕の巻き込みを防止し、立ち上がりや乗降時に容易に腕を固定できるように大きめのポケットを付けた。左右どちらの腕にも使用可能。
	19	ワイルド&ジェントル 選ばれたのは 藪美でした 中尾 耀 藪 裕平 深田 孝貴 中川 晴記 (富山短期大学 福祉学科)		着脱がしやすく、サイズ調整が自由自在で障がいや体型に関わらず、容易に着ることができたものを作った。 古着のシャツの両袖をカットし、脇下を切り開き、切り開いたところにマジックテープを縫い付ける。 サイズ調整が可能で、誰にでも合わせて着ることができ、容易に着脱できる。
	20	さわ 爽やかパンツ 吉田 節子 浜屋 千鶴 谷 るり子 (地域密着型特別養護老人 ホーム片貝ヴィーラ)		施設で今までの元気な時に使っていたような布パンツの使用を試みていたが、夜間に寝たきり状態でも交換できるよう、市販されている布パンツの股の部分切り、開閉できるようにした。 マジックテープでは皮膚が擦れる心配があるため、赤ちゃんの衣類にも使用されているワンタッチプラスナップを使用した。利用者さんの尊厳も守られ、オシャレで快適に過ごしてもらえる。また、紙パンツ、紙オムツのコストダウンの効果もある。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	21	マジックソックス Fogees 藤畑 友紀子 黒田 美穂 深田 直哉 村上 竜馬 山崎 隆良 (富山短期大学 福祉学科)		靴下をはくことが困難な高齢者でも、簡単にはけるようにと思い製作した。 靴下の上の部分を切り取り、靴下の甲の部分に切り込みを入れてマジックテープを縫い合わせた。マジックテープの裏側にも靴下の生地を使うことで、はき心地もよくした。
	22	らくらくエプロン 谷 るり子 (地域密着型特別養護老人ホーム片貝ヴィーラ)		使用しなくなった防水シートを身体の大きさ×2倍の長さに切り、中央部分に頭を入れる穴を開けた。かわいらしくするためサイドにチェックの布を取り付けて、ほつれ防止にした。また、細々したものを入れるのに、絵の描いてあるタオルでポケットを付けた。 ポケット側が食事用エプロン、半分の大きさのタオルが付いている方がよだれ用エプロン。食事中は車いすの後方が隠れ、バルーン使用の方のバルーンかくしになる。
	23	こぼしませんエプロン タンポポ 川畠 利之 北村 真希 伊勢 美鈴 石岡 友理 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		エプロンをして食事を自力摂取されていた方のエプロン横から食事がこぼれていたのを見て、こぼれないようにしたいと思い作成した。 ワイヤーにマスキングテープを巻き、形を作り、ゴムで取り付けたクリップで止めることで、患者さんに合わせた位置で止めることができる。うがいの時も使用できる。
	24	ぬけないスリッパ 山本 珠碧 (富山短期大学 福祉学科)		祖母が歩くたびにスリッパがぬけている様子を見て、ぬけないスリッパがあれば便利だと思って作った。 スリッパがぬけないよう、かかとにひっかけるゴムを付けた。また、滑らないように滑り止めをつけた。
	25	ケガぼうし君 荒木 悦子 (高志訪問看護ステーション)		頻りに転倒する患者さんの頭部を保護し、ケガを防止するために考えた。 マジックテープにカットした粘着剤付きパネルを張り付け、ウレタンマットで固定し、プロテクター部分にする。帽子にマジックテープを貼り、プロテクター部分を装着してかぶる。 外見とケガ予防を重視した。強度が十分で、軽量で肌触りもよく、ワンタッチで他の帽子にも付け替えが可能。安価で、自分の気に入った帽子にもつけられる。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	26	ひとりでデキスギ君 TMS 杉木 優太 竹山 司 牧野 綾華 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		片麻痺のある患者さんが、足がなかなか靴下の中に入らず時間をかけて靴下を履いていたのを見て、片麻痺があっても簡単に靴下がはけるような道具があればと思い作成した。 ペットボトルを切り、ケガをしないように切り口を紙ヤスリで削ったものに、紐を通して作った。 紐がついていない側から靴下を通し、ペットボトルに足を入れ、紐を引っ張り靴下からペットボトルを抜くことで、簡単に靴下をはくことができる。
	27	移動らくらくポータブルトイレ 神本 正秋 (特別養護老人ホームきらら)		横移動や体の回転が難しい方にも、保有能力を生かした方法でトイレを利用してほしいと思い、また、介助する職員の身体にかかる負担の軽減を目的にキャスターをつけてポータブルトイレを改良した。 片手で素早く動かせるため、立つ動作と座る動作で安全に排泄ができる。便座に座って重みがかわると、キャスターが引っ込み脚が床について固定する仕組み。さらにブレーキをかけることにより、トイレが動くことなく、使用時の安全性が確保できる。
	28	たため〜る 関口 祐子 (富山短期大学 福祉学科)		片麻痺の方のトイレ介助で、トイレトーパーがうまくたためない様子を見て、まな板、iPadスタンド、ものさしで作ったものに、シリコンチューブと紙を切るためのカッター(刃)を取り付けた。 まな板を上にして、滑り止めをつけたものさしで固定して使う。
	29	見ばえよいちゃ むぎや (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		胃ろうの管をしまうのに、いつもタオルでくるんでパジャマの中に入れており、体位交換のたびに腹部の周りが乱れたり、腹部がふくらんだりしてしまう。 管を出す時、注入する時にも使用できるように胃ろうの管をコンパクトにしまえる物を作った。 ハンドタオルの一片の角を一カ所合わせて縫い、マジックテープを付けて縫う。
	30	ジャストハット 医王ユニット (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		シャンプーハットのサイズが合わない方がおられ、大きすぎると水がかかり小さすぎると痛そうだと思い作った。 シャンプーハットをハサミで切り、マジックテープを付けて使う方に合わせて大きさを調節する。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア関連用具	31	ラクラク ボディウォッシュ ナガネット 永山 正樹 浦山 日南 増田 奈美 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		脳血管疾患の後遺症による握力低下や片麻痺の方にも入浴時自力で洗身してもらう自助具。タオルの持ちづらさを解消するとともに、患者さんの自力で行う意欲を高め、ADLの向上をはかる。 手袋とスポンジにマジックテープを縫い付けて合わせ、患者さんに手袋を装着して身体を洗ってもらう。手袋とスポンジが取り外し可能なため、新しいスポンジに交換して何度も使用でき、使用後も洗いやすく衛生的である。
	32	麻痺でもらくらく ボディタオル 大山 紗季 (富山短期大学 福祉学科)		麻痺があって両手が使えないと、背中を洗うのに苦労すると思い、お風呂はプライベートな空間ということもあり、なるべく自分でできることが増えたらよいと思った。 身長や麻痺側など、自分の状態に合わせてられるよう吸盤付きのタオルかけを使用し、手持ち部分は痛くないように幅広のゴムを利用した。麻痺側が壁側になるようにし、ボディタオルの吸盤を壁に付ける。健側でゴムを持ち、ひっぱりながら背中等を洗う。
	33	あらってびくろ 桐谷 智代美 (富山短期大学 福祉学科)		ボディタオルだと大きすぎたり、手からタオルが滑り落ちたり、爪で相手の体を傷つけてしまったりするという方にも使いやすい、身体を洗う手袋。 5本指の手袋の型紙を作り、型紙に沿って柔らかい布を裁断し、手首部分だけゴムを付けてミシンで縫って作る。身体を洗う介助や、自分で洗うときにも使え、指圧でマッサージしながら洗える。滑らずに、足・手指の間まで洗いやすくなっている。洗剤が少量で十分に泡立つので節約にもなる。
	34	車いすでの 着衣介助用バスタオル 森田 稚奈 (富山短期大学 福祉学科)		ショートステイでの実習中に、入浴後の車いす利用者が全裸で車いすに座って着衣介助の順番を待っている姿を見てショックを受け、不快だろうと思ったので、体を隠せるものを作った。忙しい介護者の手間を減らすため、首にさっと掛けてクリップで留めるだけにした。 バスタオルとボディタオルを縫い合わせ、ボディタオルの部分を首にかけ、両バスタオルで体を隠してクリップで留める。
	35	片手でプッシュ& クリーン 山崎 玖瑠光 (富山短期大学 福祉学科)		片麻痺の方は、片手でポンプを押すのもシャンプーを受けるのも一度にできたらよいのではと思い作った。シャンプー容器のノズルに、20cm程に切ったチューブを差し込みビニールテープでしっかり固定する。押す部分は、シリコン製フライ返しへのらの部分を固定して作った。 市販のものはほとんどがプッシュする部分が小さく押しにくい。それを改善するため、面積を大きくすることで押しやすくし、シリコン製なので力を入れても痛くない。

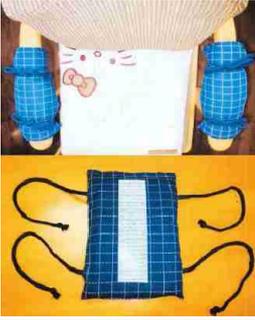
作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	36	口腔ケア スペシャルセット 滝内 聖 (富山短期大学 福祉学科)		<p>実習で寝たままでも口腔ケアをして、ガーグルベースンが顔にあてづらく、こぼれることを体験した。また、吐き出す時に飛び散るので、広く受け取れるようにしたいと考えた。</p> <p>じょうごに灯油ポンプのシャバラを付けたものを、タッパーに差しして受水器として使う。セット化しておくことで個別化でき、迅速に使用できる。シャバラホースにより姿勢の変化に対応でき、じょうごで吐き出し口が広くなり、タッパーに蓋がついているので、こぼれにくく、臭いも防ぐ。</p>
移動機器	37	ワンタッチ 杖ホルダー 二ノ宮 勝則		<p>いろいろな所で使用することを頭に置いて考えた。内側がスポンジなので、細い太いにかかわらずホールドでき、横方向から差し込む仕組みなので、手が上にあがらない方でも楽にホールドできる。</p> <p>また、テープや両面テープなどを使い、簡単に自由な所へセッティングできる。製作費は200円くらいと安価。</p>
	38	私の杖 千谷 正美 (翠十字会ホームヘルパー ステーション)		<p>うっかり杖を間違ったり間違われたり、杖が安定せず倒れてしまったり、持ち手が硬かったりするという問題を解決するために、杖にソフト素材のシートで作ったカバーを付けた。</p> <p>持ち手がカラフルで、自分の杖が一目瞭然で迷わない。また、クッション素材の滑り止め効果で、どこにおいても倒れずにクッション素材が手に優しくなっている。</p>
	39	杖がそばから離れない 小杉 樹奈 (富山短期大学 福祉学科)		<p>座っている時など、杖を使用していない時になくさないようにするにはどうすればよいか考えた。</p> <p>杖とゴムひも、吸着盤を結束バンドを使い固定した。歩行中に杖を落としてしまうとしゃがむのが大変なので、ゴムをつたっていけば、しゃがまずに杖をとることができる。視覚障がいの方の白杖にも使える。</p> <p>また、吸着盤が付いているため、どこでも杖がおいて置ける。</p>
	40	新型なのよオパールよ 島田 忠和 (旅川デイサービスセンター)		<p>利用者さんが、杖をかごの上に横にして置いていて、両端がつかえて危ないと思い、ワンタッチで収納できるように考えた。</p> <p>手軽に手に入るひもと、使用済みのスプレーの蓋を使った。</p>

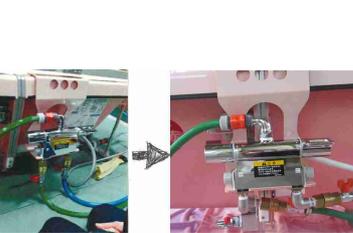
作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	41	手作り ヘッドレスト&枕 たぶの里 しあわせ 4丁目 (特別養護老人ホームつま ま園)		首の支えが弱くなって頭部がそり返り、姿勢の保持ができない人用に作成した。網ネットとつっぱり棒を固定したものに、クッションを2つ合わせにしてコの字型に縫ったものをかぶせ、車いすの背もたれ部に差し込み固定する。枕にベルトを縫い付けたものをヘッドレストに装着し、首のそり返りがみられる方の頭部を支える。つっぱり棒を使用することで、長さを調整し車いすに固定できる。
	42	足元まもるくん かみいちはなまる6 野坂 ひとみ 大須賀 真紀 清水 舞子 立花 秀斗 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		患者さんの足が何度乗せ直してもフットレストのすきまに落ちてしまっていて、後方からは足元が見えにくく、足先を損傷しないか不安だったので、介助する側、される側双方に安心できる物があればと考えた。 患者さんが車いすに乗ったら、フットレストの大きさに合わせて切ったネットをぐるりと巻きつけてマジックテープで止める。すきまがなくなり、足が落ちるのを防ぐ。
	43	フットサポート タカタパワフルズ 海内 梨香 高坂 洸徳 高田 由美 山崎 永美 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		患者さんを車いすで移動する際、フットレストから患者さんの足が落ち、ケガをしそうになった。それをきっかけに、患者さんの足を安全に守るためサポートする作品を考えました。 マジックテープを通したカバーをフットレストにかぶせ、フットレストに足を乗せ、マジックテープで足を固定する。足に触れて締めつけても痛くならないように、やわらかい素材を選択した。汚れたら洗濯できる。
	44	足安心ハンモック 素舞瑠 谷口 雅久 横山 ゆかり 谷畑 沙織 角間 里重 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		麻痺や下肢筋力低下状態の患者さんが車いすで移動する際、フットレストの間に足が挟まっていたり落ちたりしている時があったので、骨折や皮膚のびらんを予防するために作った。 バスタオル両側をリングにしばり、マジックハンドで車いすのアームに取り付け、ハンモックに足を乗せる。個人によって長さを調整できる。
	45	フットサポート クッション 橋場 正子 (特別養護老人ホーム舟見 寿楽苑)		足背の浮腫と踵部が褥瘡になった方が、靴を履くことができず、硬いフットサポートに足を載せて車いすで過ごしている姿を見て、安楽になるような、治療にむけての方法がないかと考えた。 保冷剤を不織布で覆い、角が褥瘡発生の要因になるのを防ぐため、ガーゼで包む。滑らないよう、テープ式の滑り止めシートを貼ってフットサポートに載せることで、体圧分散につながる。

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
移動機器	46	ひじあて ～ひじマルくん 高塚 沙依 (富山短期大学 福祉学科)		<p>祖母が入所している施設から、祖母がいつも車いすのひじかけに肘を載せていて、床ずれのようになるので、何かよいものがないかと言われて思いついた。</p> <p>中に綿をいれてふわふわにしたものに、長めの紐をつけ、どんな車いすのひじかけにも取り付けられるようにした。ひじかけに当たる面には滑り止めをつけて、動きにくくした。</p>
	47	らくちんバー made in Japan☆ 柴田 大聖 米田 美和子 相馬 沙耶 見津 尚子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		<p>片麻痺の患者さんが車いすのブレーキをスムーズにかけたり解除したりできたらよいと思い作った。</p> <p>塩化ビニールパイプに穴を開け、固定ボルトを取り付けてペイントした。また上部には椅子用のフットカバーを取り付けた。</p> <p>ブレーキバーにらくちんバーを装着し、固定ボルトをしめてグラつかないように固定して使う。レバーを長くして握りやすくしたことで、操作時の力を軽減した。</p>
	48	がっちりロック 山田 晴太 (富山短期大学 福祉学科)		<p>車いすのブレーキのかけ忘れはとても危険なため、ロックが二重になっていると安心だと思った。</p> <p>ふとんばさみの先端に滑り止めをつけ、がっちり固定できるようにしたものに、クルクルフックを結束バンドで止めたものをつけた。机とアームレストの固定と、車いすのタイヤとフットレストの固定ができる。長さ調節も可能。</p>
	49	移乗らくちん ハンモック みずばしょうユニット (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		<p>車いす移乗時、利用者さんと介助者の体が大きく離れてしまい、安全・安楽な移乗が難しかった。より体を近づけて介助できるような、双方に負担の少ない方法がないかと考えた。</p> <p>バスタオルの両端を筒状にして糸で縫いつけてハンモックを作り、座位時に体の下に敷き、両端の輪っかに腕を入れ、さらに脇の下を支える。お尻に近い方のバスタオルをつかみ、介助者に引き寄せせるようにして移乗する。</p>
家事用具	50	One Hand Magic けろけろけろっぴ 大島 恵子 高島 真理子 山田 唯加 木下 哉弥 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		<p>麻痺のある患者さんは、コップを使用してもなかなか洗う事ができないため、片手でもコップが洗えるような道具を作った。</p> <p>ガラス、陶器、プラスチックの全てのコップが洗えるよう、いろいろなスポンジをワイヤーカゴに針金で取り付けて作った。洗い場に吸盤で取り付け、汚れたコップを逆さまにし回転させながら洗う。</p>

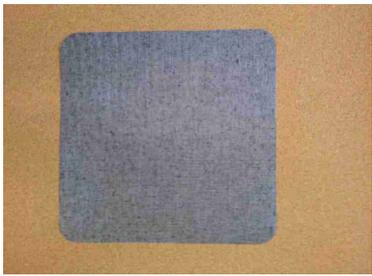
作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
家事用具	51	“箸”りでしたらとまらない“箸” ほうれんそうチーム 浅野 久美子 嵐 真梨奈 齋藤 要 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		<p>箸は細いため使いづらく、スプーンやフォークを使用する人が多い。しかし、箸を使いたいという人のニーズに答えられるものを作った。</p> <p>ホースを5cmに切り4か所に切り込みを入れ、箸を差し込む。滑り止めをつけて箸を握りやすくし、ゴムを巻いて作る。安く作れてすべての材料が洗え、好きな箸で作ることができる。</p>
	52	乗せちゃってドーナツ マミー 石伊 京子 三波 葉子 高尾 真樹子 田向 唯 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		<p>麻痺で食器が持てない患者さんにも食べやすく食事してほしいと思うが、介護用品は高価でそろえるのが大変なため、色々な食器に使えるものがあればよいと考えた。</p> <p>紙粘土でドーナツの形にし、乾かしてからビニールテープをグルグル巻いたものに、すべり止めをボンドで貼って作った。1つで色々な食器に対応でき、使う人によって角度を変えられるように考えたらドーナツ型になった。また、カラフルな色使いで気分を盛り上げられるようにした。</p>
コミュニケーション関連用具	53	楽々コール Team I SK J 8 大野 由美江 佐伯 拓哉 西川 絵美 吉崎 千晶 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		<p>ナースコールを握ったり、親指でボタンを押したりできない患者さんが、柵をたたくて看護師さんと呼んでおり、たたくていた手が出血、びらんしていたのを見て何とかしたいと思った。</p> <p>ファイルに穴を開け、ナースコール、ヒモ、ハンガーを通し、ナースコールの反対側にスポンジと滑り止めを付けて作った。ベッド柵の内側にかけ、板を押すと板の内側についている突起部分がナースコールを押し、呼び出すことができる。</p>
操作用具	54	おしぼりグリップ 水木 陽子		<p>ある利用者さんが、今までは箸を使いご飯を食べておられたが、だんだんと手の拘縮が出てきて、スプーンの使用に変わった。しかしそのままの柄では持ちにくいという様子がみられ、グリップを作成した。</p> <p>ハンドタオルを半分に切り、縫い合わせて、柄を差し込むところに切り込みを入れてまつ。そしてマジックテープをつけて固定する。スプーンやフォークの柄を手フィットするような太さや感触にし、使用後はおしぼりとしても使える。</p>
	55	ホースに負荷がかからない。 ぶんく満訪問入浴 (特別養護老人ホームやすらぎ荘)		<p>送水ホースと送湯ホースを混合栓につないだとき、ホースと地面との距離が近く、ホースに負担がかかる状態で、体にも負担がかかりホースを繋げるのが困難だった。</p> <p>水道業者にホースを横に設置できるように、ステンレス管を依頼し、水漏れしないよう、継ぎ目にシールテープを巻いた。繋ぎ目を縦から横に変更したことで、ホースの負荷を軽減し、取り外しもスムーズにできる。</p>

作品部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
操作用具	56	ドライ安楽君 それいけTommy 石田 美幸 江戸 亜由子 前田 理沙 金山 雅代 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		ベッド上で患者さんの髪を1人で乾かす時、後頭部は乾かしにくくドライヤーをベッド上においても角度が付きやすく乾かせない。患者さんに負担をかけず、なおかつ介護者の腰痛予防のためにドライヤーを上手く固定できるものを作った。 スポンジを角度をつけてカットし、すべり止めシートを巻いて作った。ベッドに少し角度がついてもずり落ちない。
	57	すべらん袋 佐野 由里 (富山短期大学 福祉学科)		施設実習の時、飲み物をこぼされているのを見かけたのがきっかけで作った。 コップの大きさに合わせて布を切り、取っ手の部分を開けて縫い、上の部分にゴムを通して取っ手にリボンをつける。底の部分には滑り止めを付ける。 取り外しが可能で、洗う事もできる。
レクリエーション用具	58	片手でさし子 福納 侑香 (富山短期大学 福祉学科)		ボランティアに参加した際、片麻痺の方が健側で刺し子をしていたが、片手だと動いてしまうため、文鎮をおいておられるのを見た。しかし、文鎮が落ちたり動いたりするため危険だと思い、動かないものを作った。 ダンボールで型を作り布を周りに貼った。マジックテープを両サイドにつけて道具を固定しておくことができる。底には滑り止めシートを貼った。そして、真ん中に針山を置く場所を作った。
その他	59	日めくりカレンダー たこ 岩田 知也 田邊 葵 尾谷 沙映 松井 純子 (富山市医師会看護専門学校 准看護学科)		入院すると曜日感覚がわからなくなるので、毎日患者さんにめくってもらい、メリハリを付けようと思った。 ダンボールを三角に切り取り、必要な枚数の紙に数字、曜日を書き入れ、入浴日や月の最終日を記載した。 月、日、曜日の下に、患者さんが必要な情報を書けるスペースを作った。好きな所に置き、毎日自分でめくってもらう。

製品開発部門

分類	No.	作品名 出品者	作品	用途・特徴
パーソナルケア 関連用具	1	特殊セラミック パウダー消臭シート 有限会社ナンワ		消臭性の試験の結果、尿の臭気成分のアンモニアの減少率は、2時間で97.8%、汗の臭気成分の酢酸の減少率は、2時間で92%、生ごみの臭気成分のトリメチルアミンの減少率は93.8%。繊維製品の消臭加工の消臭性の基準は類似した試験で減少率が70%以上になっており、高い消臭性があることが確認できた。特殊セラミックパウダー消臭シートの消臭効果は、3カ月～4カ月有効（たたみ6畳で4枚が目安）。原料の元となるセラミックパウダーは立山の溶岩から採取した地元の資源を活用。
その他	2	マグネ筆 株式会社アシストラボ		マグネ筆で市販の磁気ボードに文字を書くと、これまでには無かった筆の構造や機能に近い筆圧の変化と線の太い細い表現ができる。毛筆活動を希望しても、準備や後片付けの関係で制約を伴っていた方も、墨汁や紙、電源も不要で、必要に応じて簡単に消去が可能なので、どこでも手軽に楽しみながら手指などの機能維持を兼ねた毛筆活動が可能。 書いたものはすぐに飾ることができる。枠に折り紙やきり絵を貼りつけた手作り額縁を作り楽しむことも可能。
	3	ユニバーサル 結束バンド ウラヤマ考業		穴を大きくしたことで暗闇(目の不自由な人)でも使いやすく、ひもに凸凹をつけたので手が滑りにくく、穴からもすれにくい。穴にひもを固定する溝を2か所つけて、どちらでも固定できる。 軟質ポリエチレン素材で、不要部を切っても切り口でケガしにくく、耐水性、耐薬品性、絶縁性、耐寒性、耐衝撃性に優れ食品容器もOK。識別を楽にするために樹脂に色を混ぜて様々な色にできる。片手で着脱できるので片麻痺等の回復訓練する結束バンドになる。

平成26年度福祉用具・アイデアコンクール実施要綱

1. 趣 旨

「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、高齢者や障害者の生活の自立支援と介護者の負担の軽減を図り、人々の生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアや作品・製品を広く募集し、優れた応募作品を表彰します。

本コンクールは、人々の暮らしをより向上させる福祉用具への関心を高めるとともに、利用者ニーズを発掘し、県内の優れた産業技術との融合による富山県産福祉機器の開発を目指すことも目的としております。

2. 募集内容等

(1) 応募資格

県内在住・在勤の個人またはグループ及び県内企業（県内に本社が在する企業に限る）

(2) 募集内容

①アイデア部門（個人またはグループ）

生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデア。市販製品やリサイクル品を一部改良し利用するアイデアを含みます。

②作品部門（個人またはグループ）

生活を豊かで快適にする手作り福祉用具。独自に考案した介護用品、市販製品の一部改良やリサイクル品への工夫を含みます。

③製品開発部門（企業）

福祉用具等に関する独自の開発製品。市販製品、試作品を問いません。
ユニバーサルデザイン、共用品等の福祉関係製品についても自立支援や介護負担の軽減に寄与するものは対象とします。

※①と②については未発表の作品に限ります。また、非衛生的なもの、壊れやすいものや危険なもの等は全ての部門で募集の対象外とします。

(3) 応募受付期間

平成26年8月1日(金)～9月5日(金)

(4) 応募方法

各部門で必要な書類等をそろえ、応募期間内に各部門の応募先へ郵送または、直接提出してください。

[提出書類等]

①アイデア部門・・・・・・応募用紙(様式1)

②作品部門・・・・・・応募用紙(様式2)、作品（製作した実物を提出して下さい）

③製品開発部門・・・・・・応募用紙(様式3)、製品のパンフレット、仕様書等

※製品本体の搬入については別途連絡します。

※ご応募いただいたアイデア及び作品については作品集に掲載しますので、以下のことにご協力願います。

【①について】

・応募用紙に記載する図やイラストは、できる限り単純・明瞭に、黒マジックやBの鉛筆を使用する等、濃く記入して下さい。

【②、③について】

・応募用紙に貼付する写真は、鮮明ではっきりわかる写真を添付してください。

・使用方法等をまとめた電子媒体やビデオ等があれば、一緒に提出されても構いません。提出いただいた電子媒体・ビデオ等は、作品と共に返却します。

3. 審査・表彰等

(1) 審査

学術関係者、福祉関係者等により構成される審査会において審査します。

- ① アイディア部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞
- ② 作品部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞
- ③ 製品開発部門 最優秀賞1点、優秀賞2点、その他の賞

(2) 表彰

平成26年10月17日（金）の表彰式において各部門の入賞者を表彰します。

また、①と②の個人またはグループに参加賞（受賞者除く）をお渡しします。

(3) 作品展示

表彰式終了後2週間程、富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階のモデルルームにて展示します。

(4) 応募作品の取扱

展示終了後、返却します。（返却期間については後日連絡します。）

(5) 実用新案・特許等について

コンクールでは発表及び展示をしますので、出願をお考えの方は、事前に実用新案及び特許等の手続きを済ませておいてください。

(6) 搬入・搬出について

書類及び作品(製品)の送付、搬入・搬出にかかる経費は応募者の負担になります。

また、作品(製品)の送付、搬入出時のやむを得ない事情等により破損した場合の補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

4. 主 催

富山県

富山県福祉機器開発推進会議

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター

5. 後 援

一般社団法人 富山県介護支援専門員協会／一般社団法人 富山県介護福祉士会

公益社団法人 富山県看護協会／一般社団法人 富山県作業療法士会

一般社団法人 富山県身体障害者福祉協会／富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会

富山県ホームヘルパー協議会／一般社団法人 富山県理学療法士会

富山県老人福祉施設協議会

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 東海北陸支部 富山県ブロック

応募先及び問い合わせ先

① アイディア部門 ② 作品部門について

富山県介護実習・普及センター「福祉用具・アイディアコンクール」係

〒930-0094 富山市安住町5番21号

富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階

Tel.076-432-6305 Fax.076-432-6307

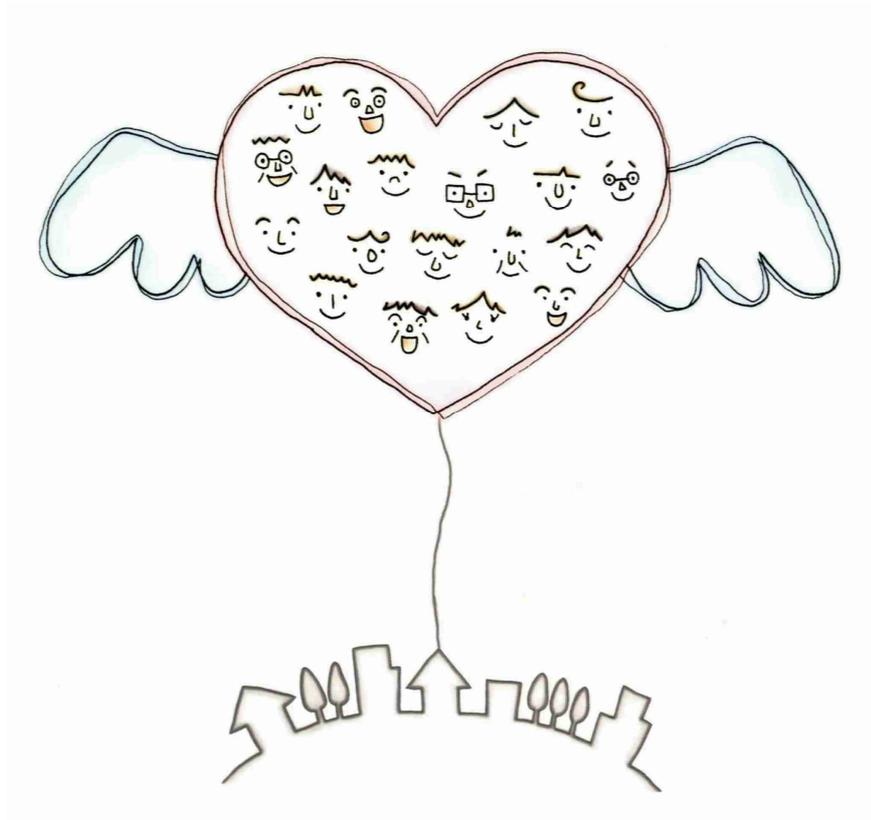
③ 製品開発部門について

富山県福祉機器開発推進会議事務局

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

富山県厚生部厚生企画課内

Tel.076-444-3197 Fax.076-444-3491



社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

富山県福祉カレッジ

富山県介護実習・普及センター

〒930-0094 富山市安住町5-21

富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 2階

TEL. 076-432-6305 FAX. 076-432-6307

ホームページ <http://www.toyama-shakyo.or.jp/hukyu/index.html>